

消 防 統 計

平成23年中



西 分 署(新庁舎)

平成23年4月1日開署

草 加 市 消 防 本 部

平成23年草加市・火災・救急・救助出動件数



火災出動件数

	平成23年	平成22年	増 減
火災件数	103	83	20
建物	51	32	19
車両	6	11	△ 5
その他	46	40	6

救急出動件数

	平成23年	平成22年	増 減
救急出動件数	10,216	9,765	451
火災	60	62	△ 2
水難	1	2	△ 1
交通	1,235	1,237	△ 2
労働災害	90	80	10
運動競技	58	61	△ 3
一般負傷	1,371	1,355	16
加害	116	146	△ 30
自損行為	146	148	△ 2
急病	6,589	6,168	421
その他	550	506	44
救急支援 出場件数	1,566	1,677	△ 111



救助出動件数

	平成23年	平成22年	増 減
救助出動件数	115	108	7
火災・建物	18	16	2
火災・建物 以外	0	6	△ 6
交通事故	19	24	△ 5
水難事故	4	3	1
機械事故	4	3	1
建物事故	57	35	22
その他	13	21	△ 8



目 次

[火災統計]

火災の概要	P 1
月別火災発生状況	P 2
火災種別発生状況	P 3
建物火災・用途別発生状況	P 4
車両火災・用途別発生状況	P 5
その他火災・用途別発生状況	P 6
出火箇所別発生状況	P 7
建物出火箇所別発生状況	P 8
時間別発生状況	P 9
町名別火災発生状況 No. 1	P 10
町名別火災発生状況 No. 2	P 11
担当区域別件数	P 12
原因別火災発生状況 No. 1	P 13
原因別火災発生状況 No. 2	P 14
近年の推移から見る 平成 2 3 年の特徴	P 15
近年の火災原因の推移について	P 16
過去 1 0 年間の火災概況	P 17
緊急消防援助隊の登録状況	P 18

[救急統計]

救急業務の実施状況	P 19
救急種別出動件数・搬送人員	P 20
町名別救急出動件数 No.1	P 21
町名別救急出動件数 No.2	P 22
救急隊別出動件数・搬送人員	P 23
月・曜日・時間別出動件数	P 24
現場到着所要時間別出動件数	P 25
年齢別傷病程度別搬送人員 No. 1	P 26
年齢別傷病程度別搬送人員 No. 2	P 27
事故種別傷病程度別搬送人員	P 28
発生場所別搬送人員状況	P 29
市民に対する救急処置の講習会	P 30

[救助統計]

救助活動状況の概要
事故種別救助出動状況
事故種別救助活動状況
事故種別救助人員
平成 2 3 年中の主な 救助活動事例

[1 1 9 番統計]

1 1 9 番通報状況
平成 2 3 年火災報知専用電話 (119番)種別受信状況

火災統計

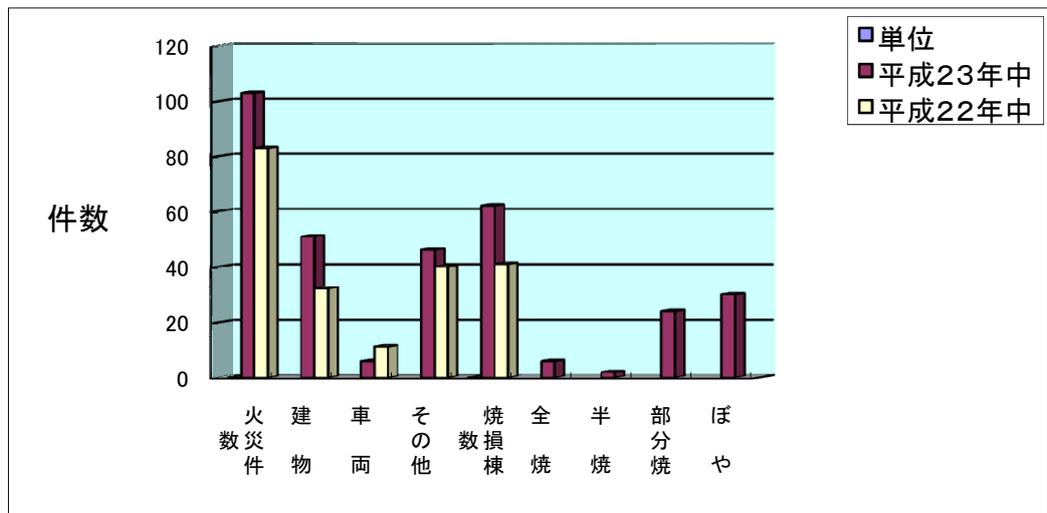


平成23年11月15日 消防署配備

火災の概要

	単位	平成23年中	平成22年中	増減
火災件数	件	103	83	20
建物		51	32	19
車両		6	11	△ 5
その他		46	40	6
焼損棟数	棟	62	41	21
全焼		6	5	1
半焼		2	3	△ 1
部分焼		24	18	6
ぼや		30	15	15
焼損床面積	m ²	1,069	678	391
焼損表面積	m ²	95	44	51
死者	人	3	0	3
負傷者	人	12	10	2
り災世帯	世帯	48	31	17
全損		13	5	8
半損		0	2	△ 2
小損		35	27	8
り災人員	人	124	73	51
損害額	千円	54,547	21,215	33,332
建物(収容物含む)		51,873	18,729	33,144
車両		810	1,543	△ 733
その他		1,864	943	921
出火率	%	4.2	3.4	0.8

※注 各欄の△は減数を表す。
出火率は、火災件数／人口×10,000にて算出する。



月別火災発生状況

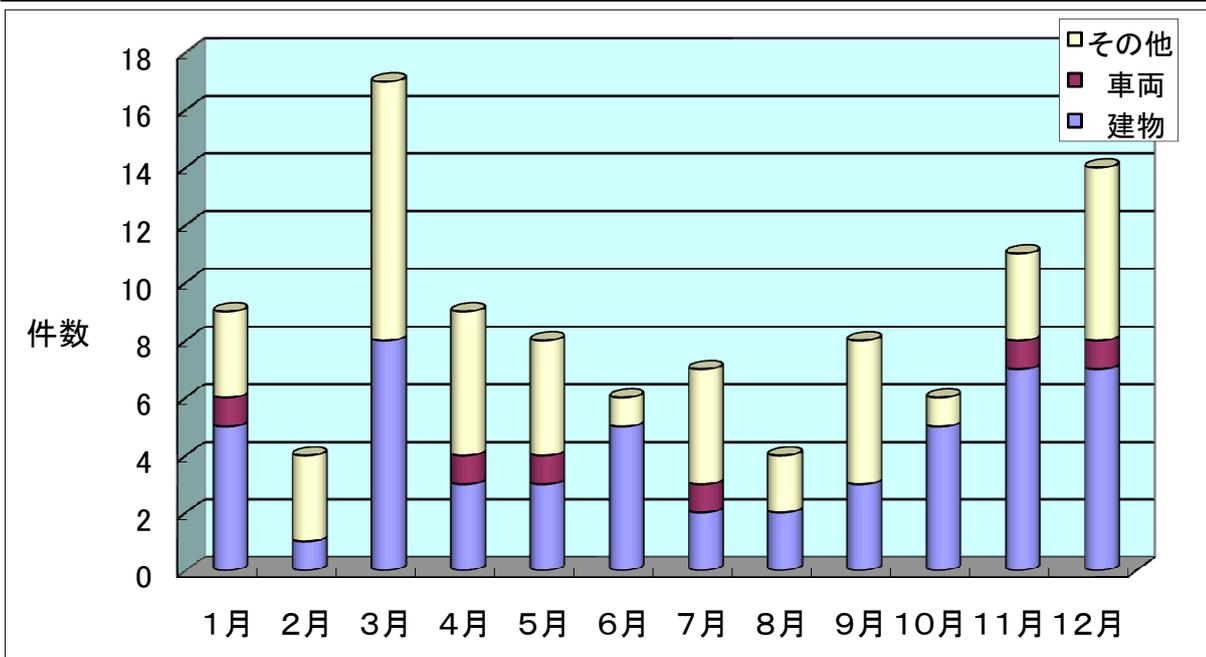
月別に火災の件数をみると、3月の17件が最も多く発生した月となりました。

建物火災の件数を月別でも、3月の8件が最も多く、2番目に11月、12月に7件ずつと、火災の多発期に多い傾向で、2月の寒い時期に1件と減少しているのは珍しい現象となりました。

平成23年中の火災件数は、前年度より20件増加しました。

建物火災の件数にしても、19件の増加となりました。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建物	5	1	8	3	3	5	2	2	3	5	7	7	51
車両	1			1	1		1				1	1	6
その他	3	3	9	5	4	1	4	2	5	1	3	6	46
計	9	4	17	9	8	6	7	4	8	6	11	14	103



火災種別発生状況

火災種別ごとの平成23年中の火災発生状況の特徴は、次のとおりです。

建物火災

建物火災の件数は、51件で前年より19件増加し、火災総発生件数に占める割合は50%です。

また、住宅(専用・共同)からの出火は、32件発生し前年より8件増加しました。これら住宅からの出火による死者は、平成23年中3件発生しました。

建物火災の件数は前年より増加し、焼損床面積が391㎡増加し、焼損表面積においても51㎡程増加しました。

車両火災

車両火災の件数は6件発生し、前年と比較すると5件減少しました。

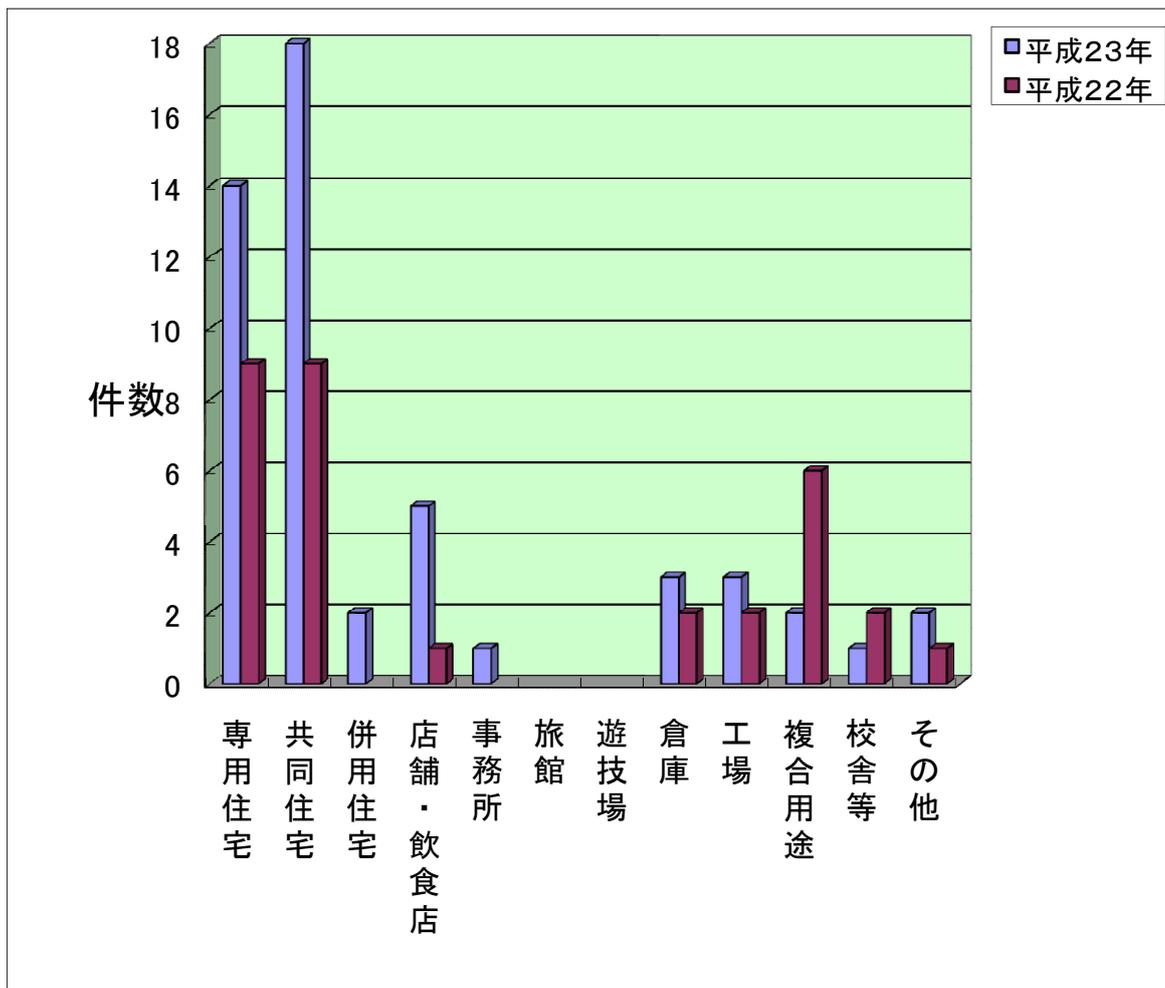
その他火災

その他火災の件数は46件発生し、前年に比べて増加しました。毎年公園内の物品や路上・ゴミ集積場などのゴミに火災が多く発生し、平成23年中にあっても29件発生し、その他火災の件数に占める割合の63%です。



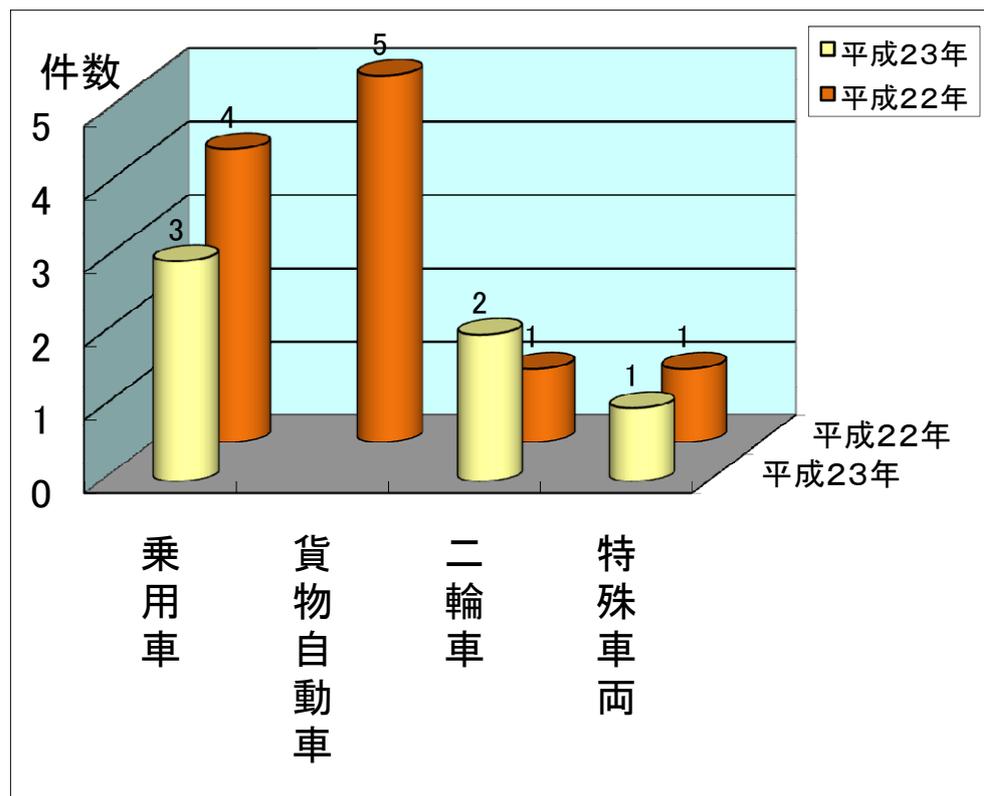
建物火災・用途別発生状況

	平成23年	平成22年	比較増減	平成23年中の主要原因			
				放火	コンロ	タバコ	その他
専用住宅	14	9	5	2	3	1	8
共同住宅	18	9	9	5	2	4	7
併用住宅	2		2	1	1		
店舗・飲食店	5	1	4	1	2		2
事務所	1		1	1			
旅館			0				
遊技場			0				
倉庫	3	2	1	2			1
工場	3	2	1				3
複合用途	2	6	△ 4	1	1		
校舎等	1	2	△ 1	1			
その他	2	1	1	1		1	
合計	51	32	19	15	9	6	21



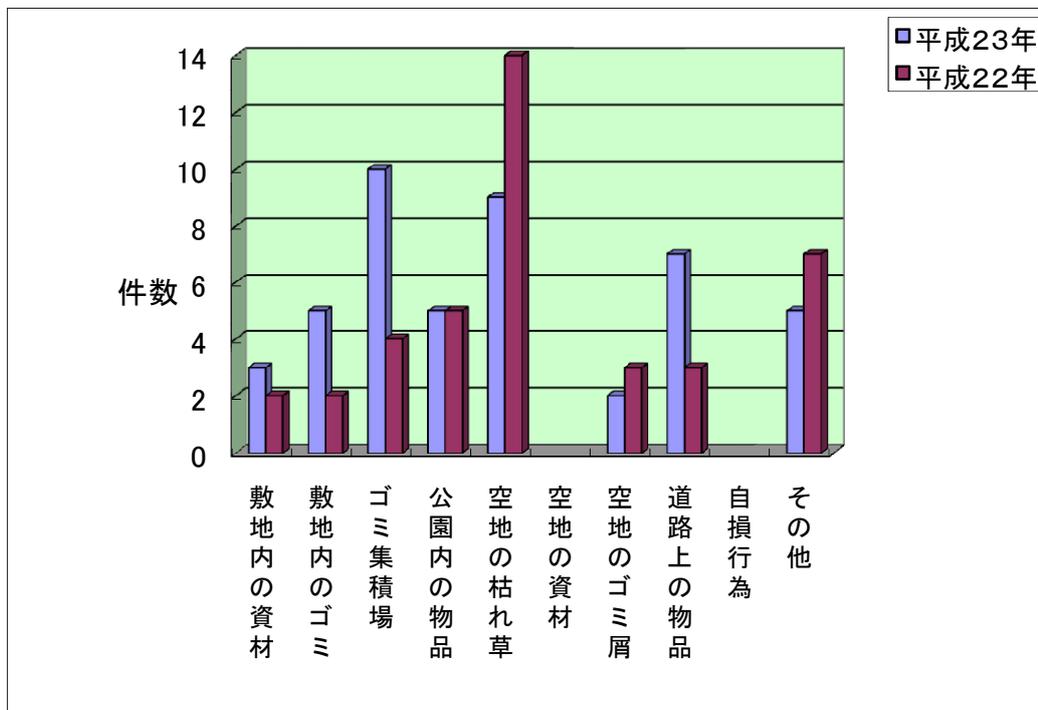
車両火災・用途別発生状況

	平成23年	平成22年	比較増減
乗用車	3	4	△ 1
貨物自動車		5	△ 5
二輪車	2	1	1
特殊車両	1	1	0
合 計	6	11	△ 5



その他火災・用途別発生状況

	平成23年	平成22年	比較増減
敷地内の資材	3	2	1
敷地内のゴミ	5	2	3
ゴミ集積場	10	4	6
公園内の物品	5	5	0
空地の枯れ草	9	14	△ 5
空地の資材			0
空地のゴミ屑	2	3	△ 1
道路上の物品	7	3	4
自損行為			0
その他	5	7	△ 2
合 計	46	40	6



出火箇所別発生状況

出火箇所分類から見た平成23年中の特徴は、次のとおりです。

建物火災発生件数は、前年より19件減少しました。

出火箇所の上位は、居室の16件、次に台所の8件となっております。

出火箇所は、居室と台所からの出火が24件で、昨年より4件が増加し、建物火災全体の47%が、この2箇所からの出火でした。

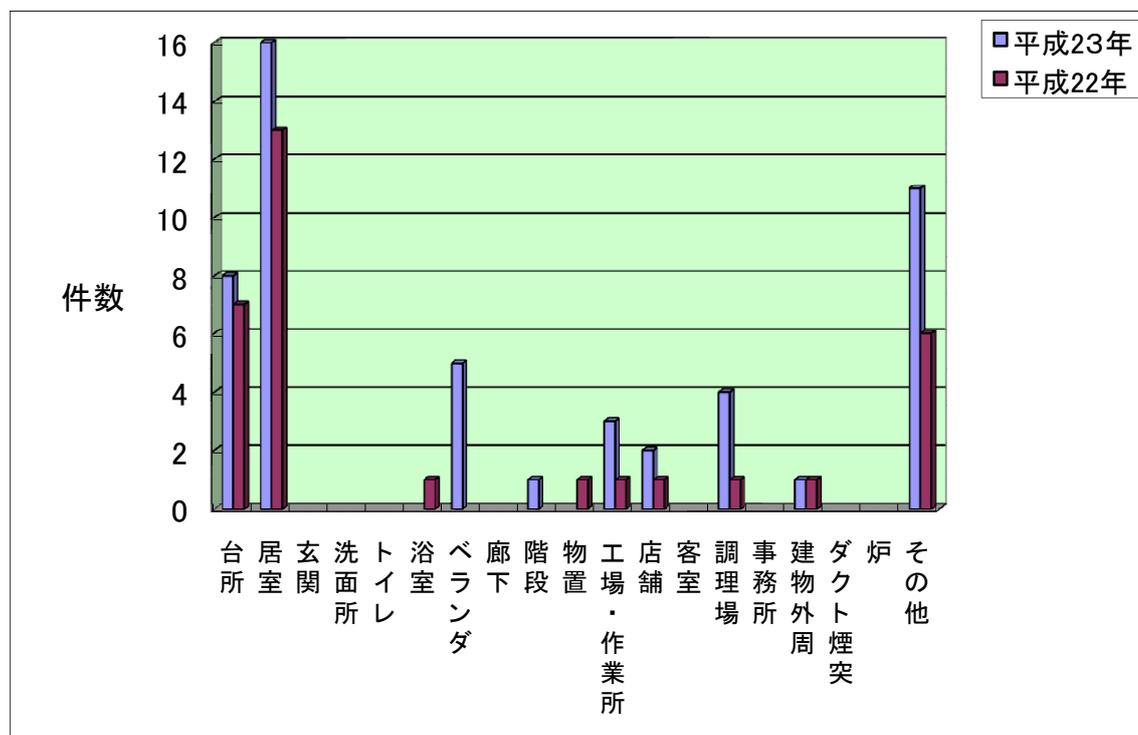
この2箇所を前年と比較すると居室は3件が増加し、台所にあつては1件が増加しました。



建物出火箇所別発生状況

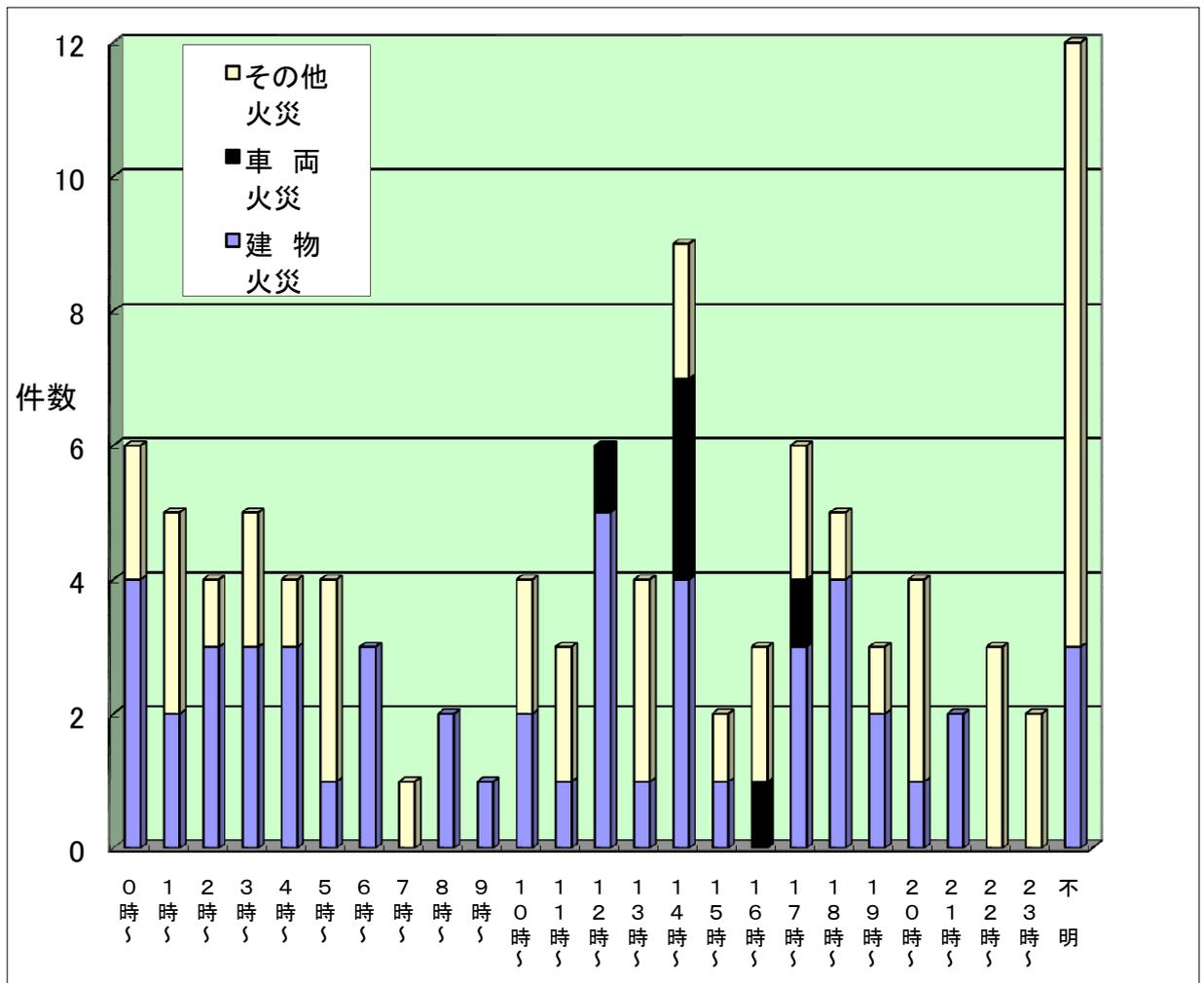
平成23年中の主要原因

	平成23年	平成22年	比較増減	放火	コンロ	タバコ	その他
台所	8	7	1		6		2
居室	16	13	3	3		2	11
玄関			0				
洗面所			0				
トイレ			0				
浴室		1	△ 1				
ベランダ	5		5	1		3	1
廊下			0				
階段	1		1			1	
物置		1	△ 1				
工場・作業所	3	1	2				3
店舗	2	1	1	1			1
客室			0				
調理場	4	1	3		3		1
事務所			0				
建物外周	1	1	0	1			
ダクト煙突			0				
炉			0				
その他	11	6	5	9			2
合計	51	32	19	15	9	6	21



時間別発生状況

	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	不明	合計	
建物火災	4	2	3	3	3	1	3		2	1	2	1	5	1	4	1			3	4	2	1	2			3	51
車両火災													1		3		1	1									6
その他火災	2	3	1	2	1	3		1			2	2		3	2	1	2	2	1	1		3		3	2	9	46
合計	6	5	4	5	4	4	3	1	2	1	4	3	6	4	9	2	3	6	5	3		4	2	3	2	12	103
放火等	4	5	1	4	2	3		1				1	2	2	3	1	2	2		1	3	1	2	1	10	51	
その他の原因	2		3	1	2	1	3		2	1	4	2	4	2	6	1	1	4	5	2	1	1	1	1	2	2	52



※放火等は、放火及び放火の疑いをいう。

町名別火災発生状況 No. 1

平成23年中の火災総件数を、町名別に見ると、次のとおりです。

吉町が12件で最も多く、次に青柳の9件となります。

吉町の12件の火災種別は、建物火災4件、車両火災1件、その他火災7件の内訳となっています。

また、平成23年中火災がなかった地域は、8地域でした。

町名別発生件数

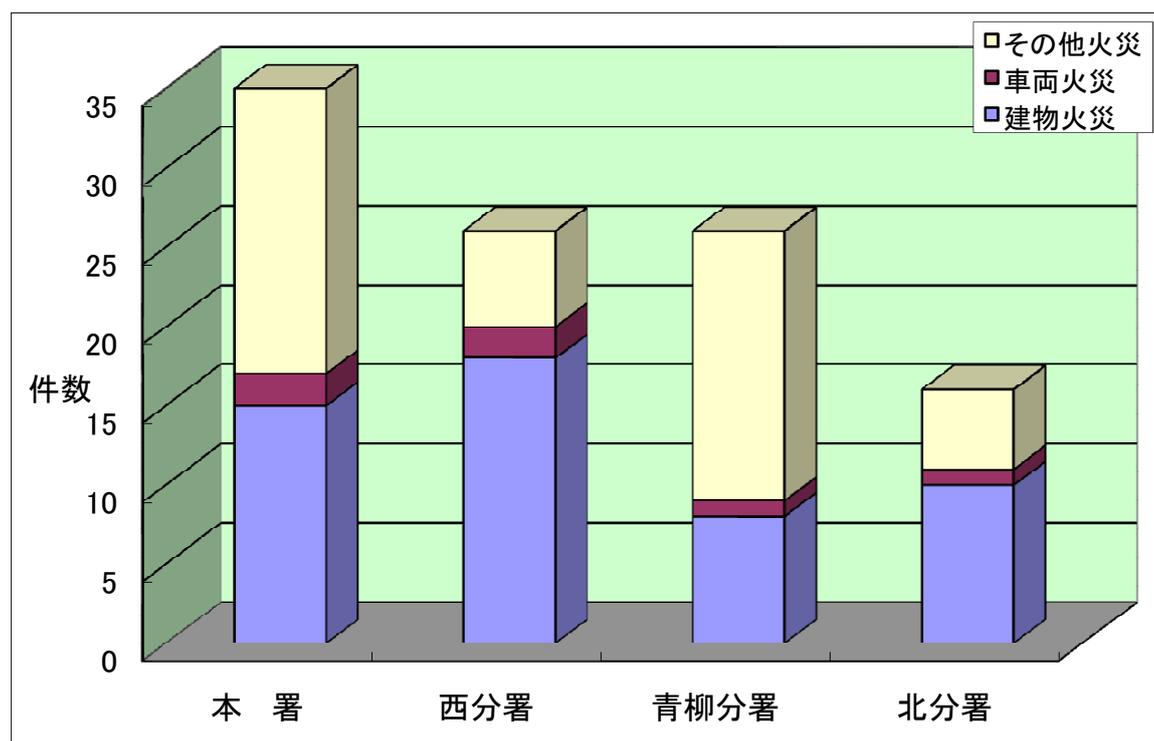
町名	平成23年	平成22年	町名	平成23年	平成22年	町名	平成23年	平成22年
新栄町	6		金明町	5	3	柿木町	8	9
長栄町	1	1	旭町	1	4	青柳	9	8
清門町	1	1	松原	1	10	八幡町	5	4
新善町	3	2	栄町	4		弁天	3	1
原町		1	草加	2	1	中根		
北谷		2	花栗	4		松江	2	3
小山	2		学園町		2	稲荷	2	2
苗塚町			西町	2	2	神明	1	2
柳島町	2		氷川町	5	6	住吉	1	
両新田東町			高砂	3		中央	1	1
両新田西町		1	谷塚町	5	6	手代町	3	
遊馬町		1	谷塚仲町	2		吉町	12	3
新里町	2	4	谷塚上町	2	1	瀬崎	3	2
合計							103	83

町名別火災発生状況No. 2
 平成23年中
 合計103件



担当区域別件数

	建物火災	車両火災	その他火災	合 計
本 署	15	2	18	35
西分署	18	2	6	26
青柳分署	8	1	17	26
北分署	10	1	5	16
合 計	51	6	46	103



原因別火災発生状況 No. 1

平成23年中の火災発生状況を、出火原因別に見ると、次のとおりです。

原因別火災発生状況の第1位は、放火（疑いを含む）が最も多く53件発生しており、全体の52%を占めております。

次にコンロ9件で、タバコ7件、タバコにあっては前年より5件増加しました。

放火（疑いを含む）は、全国統計の出火原因の第1位で、草加市においても過去10年間第1位になっています。



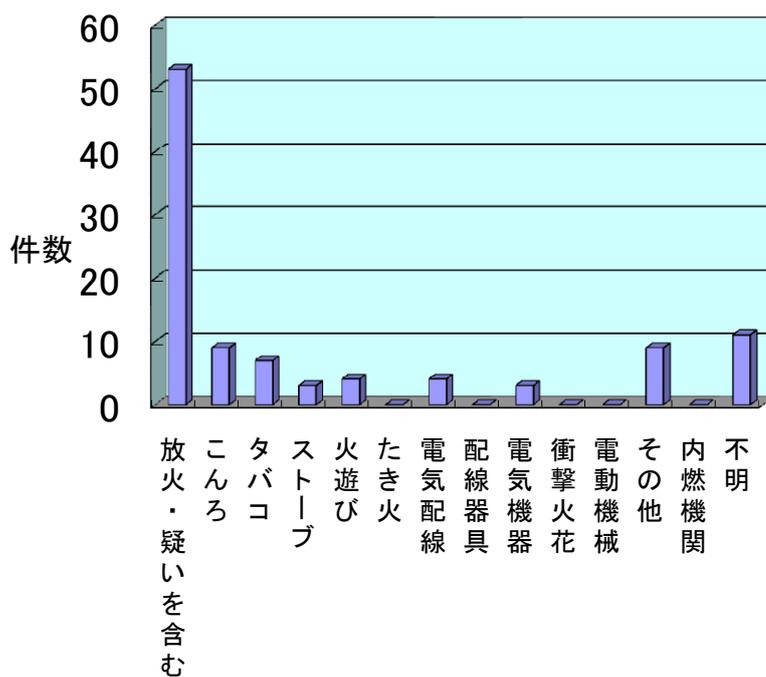
家のまわりに燃えやすいものを置かない。



原因別火災発生状況 No.2

※ 焼損程度・焼損床面積・焼損表面積・建物損害額は、火元のみ。

	合計	建物火災	焼損程度				車両火災	その他火災	焼損床面積 m ²	焼損表面積 m ²	建物損害額 (千円)
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
放火・疑いを含む	53	15		1	6	7	2	36	164	33	5,719
こんろ	9	9	1		3	5			72	7	2,644
タバコ	7	6	1		2	3		1	211	2	2,713
ストーブ	3	3				3					
火遊び	4	1				1		3			
たき火	0										
電気配線	4	3			3			1	63		1,946
配線器具	0										
電気機器	3	3				3					
衝撃火花	0										
電動機械	0										
その他	9	6	1		3	2	2	1	189		7,002
内燃機関	0										
不明	11	5	2	1	2		2	4	276		14,029
合計	103	51	5	2	19	24	6	46	975	42	34,053



近年の推移から見る平成23年の特徴

1 火災件数について

火災発生件数は、社会の諸状況によって大きく変化します。
特に放火等は出火の増減に大きく影響します。

平成23年中の火災総発生件数は、前年と比較し20件増加し、それに伴い、放火等による出火も20件増加しました。

放火等による出火は20年連続でワースト1になっています。

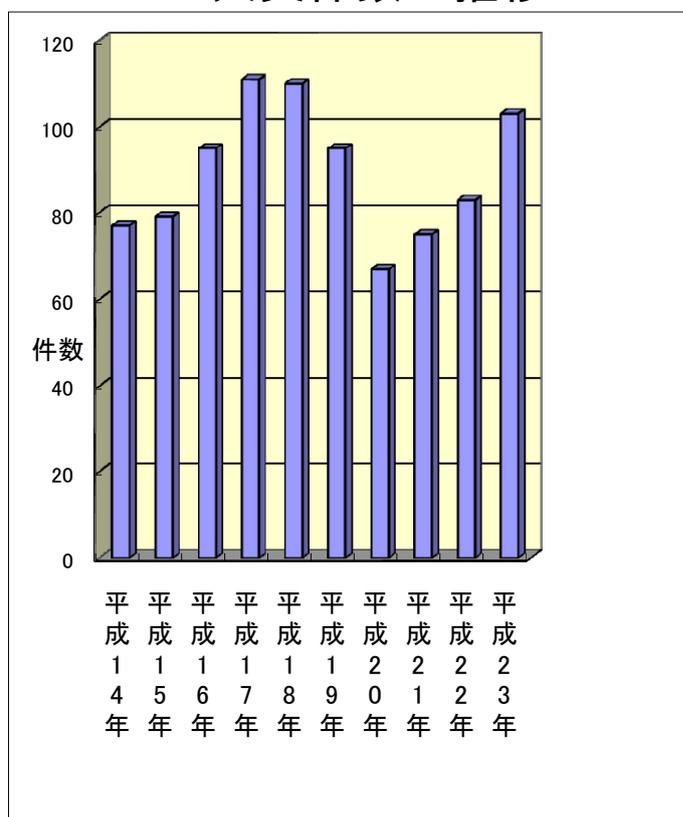
また、その他火災については前年より6件増加、車両火災については5件減少しました。

2 出火率について

出火率とは、年内の火災総発生件数を人口1万人当たりで表したものです。

平成23年中は、4.2ポイントと前年より0.8ポイント増加しました。

火災件数の推移



出火率の推移

	火災件数	人口	出火率
平成14年	77	232,768	3.3
平成15年	79	235,494	3.4
平成16年	95	237,535	4.0
平成17年	111	238,314	4.7
平成18年	110	238,951	4.6
平成19年	95	239,896	3.9
平成20年	67	241,279	2.7
平成21年	75	242,175	3.1
平成22年	83	243,235	3.4
平成23年	103	244,401	4.2
平均	90	239,405	3.7

※ 出火率は件数／人口×10,000

平成23年は平成23年12月1日現在の人口

近年の火災原因の推移について

平成23年中に発生した火災総件数103件の原因内訳を見ると、放火（疑いを含む）によるものが53件発生し、前年と比較し20件増加となっています。

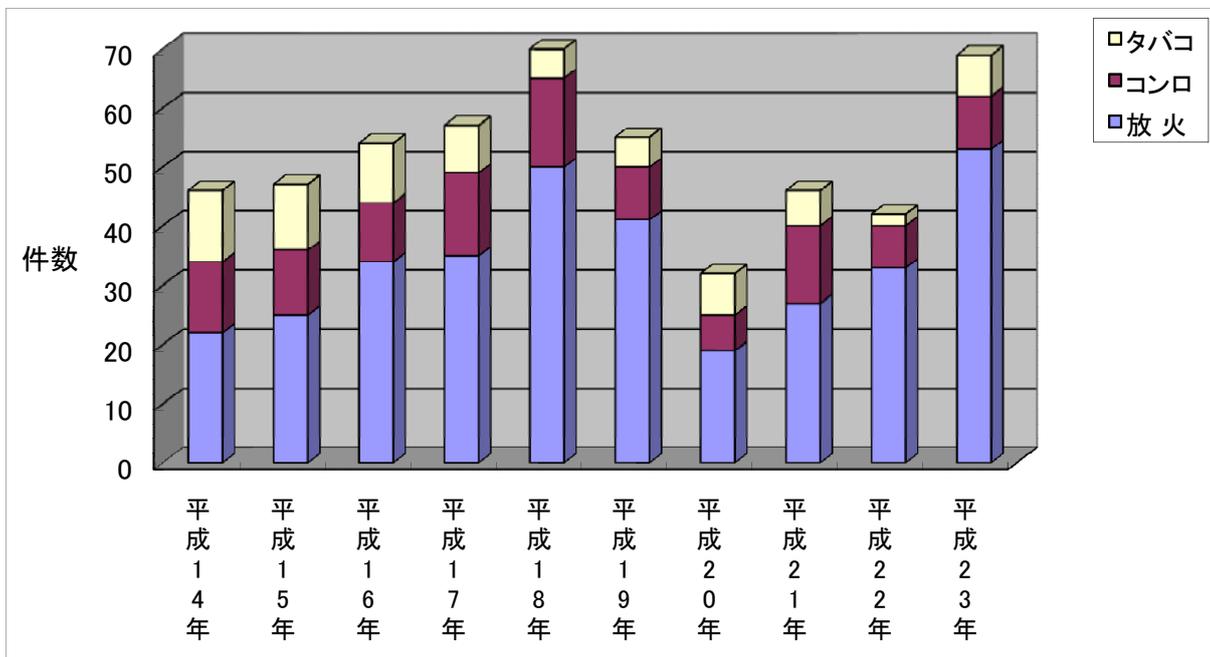
次に多く発生しているのがコンロ9件、タバコ7件で、前年よりいずれも増加しました。

また、社会環境の進展、変化に伴い電気関係を起因とする火災が6件発生（P14参照）し、火災原因の多様化とともに原因の究明も益々複雑困難になるものと思われます。

主な火災原因の推移

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	合計
放火	22	25	34	35	50	41	19	27	33	53	339
コンロ	12	11	10	14	15	9	6	13	7	9	106
タバコ	12	11	10	8	5	5	7	6	2	7	73
合計	46	47	54	57	70	55	32	46	42	69	449
年間火災	77	79	95	111	110	95	67	78	83	103	898
割合	59.7%	59.5%	56.8%	51.4%	63.6%	57.9%	47.8%	59.0%	50.6%	67.0%	50.0%

※ 放火は、疑いを含む



過 去 10 年 間 の 火 災 概 況

区分 年別	火災件数				焼損棟数					焼損面積(m ²)		損害見積額 (千円)	死傷者		り災世帯				り災人員
	建物火災	車両火災	その他火災	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	床面積	表面積		死者	負傷者	全損	半損	小損	合計	
平成14年	49	12	16	77	9	4	24	28	65	595	25	190,068	—	11	16	2	39	57	127
平成15年	51	8	20	79	7	5	9	30	51	1,482	82	232,494	2	12	9	4	52	65	135
平成16年	49	10	36	95	2	3	33	22	60	556	53	80,524	1	11	4	4	38	46	122
平成17年	50	12	49	111	11	7	27	21	66	7,373	91	1,077,177	5	23	3	5	27	35	117
平成18年	56	9	45	110	6	2	18	30	56	988	25	37,516	2	26	4	2	29	35	140
平成19年	59	9	27	95	5	10	23	30	68	1,484	81	87,244	6	23	14	7	38	59	161
平成20年	38	3	26	67	8	3	22	24	57	1,859	144	104,794	1	13	16	4	38	58	116
平成21年	48	10	20	78	3	1	21	28	53	448	24	45,025	1	10	8	1	55	64	130
平成22年	32	11	40	83	5	3	18	15	41	678	8	21,215	0	10	5	2	27	34	73
平成23年	51	6	46	103	6	2	24	30	62	1,069	95	54,547	3	12	13	0	35	48	124

緊急消防援助隊の登録状況

緊急消防援助隊登録部隊数《全国》

(平成23年4月1日現在)

指揮支援部隊	38隊	航空部隊	70隊
都道府県隊指揮隊	110隊	水上部隊	19隊
消火部隊	1,592隊	特殊災害部隊	278隊
救助部隊	390隊	特殊装備部隊	351隊
救急部隊	1,014隊	全国 783 消防本部	
後方支援部隊	607隊	4,354隊 (重複除く)	

緊急消防援助隊登録隊数 《草加市》

消火部隊	1隊	5人
救助部隊	1隊	5人
救急部隊	2隊	6人
特殊災害部隊	1隊	5人
計	5隊	21人

緊急消防援助隊の出動状況【平成16年4月1日法制化以降】

- 1 平成16年 7月13日・新潟・福島豪雨
- 2 平成16年 7月18日・福井豪雨
- 3 平成16年10月21日・台風23号兵庫県豊岡市水害
- 4 平成16年10月23日・新潟県中越地震 震度7
- 5 平成17年 3月20日・福岡県西方沖を震源とする地震災害 震度6
- 6 平成17年 4月25日・JR西日本福知山線列車事故
- 7 平成19年 1月30日・奈良県吉野郡上北山村土砂崩れ車両埋没事故
- 8 平成19年 3月25日・能登半島地震 震度6強
- 9 平成19年 4月15日・三重県中部を震源とする地震 震度5強
- 10 平成19年 7月16日・新潟県中越沖地震 震度6強
- 11 平成20年 6月14日・岩手・宮城内陸地震 震度6強
- 12 平成20年 7月24日・岩手県沖岸北部を震源とする地震 震度6強
- 13 平成23年 3月11日・東日本大震災 震度7

救急統計



救急草加1 平成24年1月27日 消防署配備
救急青柳1 平成24年2月 2日 青柳分署配備

救急業務の実施状況

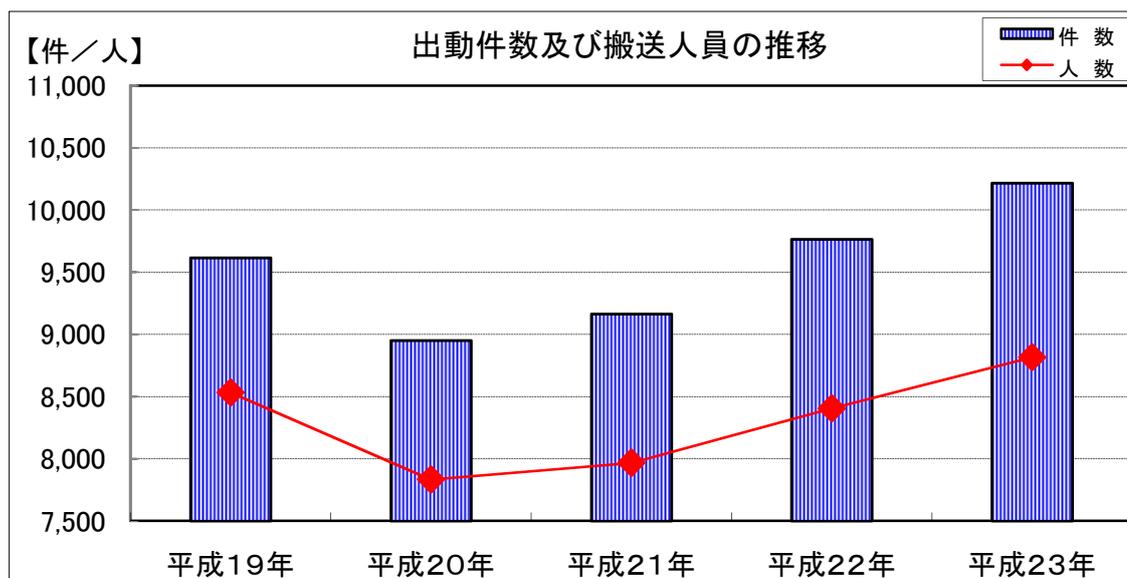
平成23年中の救急出動件数は、10,216件で前年と比較すると451件(4.6%)の増加となりました。また、搬送人員は、8,816人で前年と比較すると411人(4.8%)と出動件数と同様に増加となっています。

1日の平均出動は、約28件となり、市民の約24人に1人が救急車により搬送されたこととなります。

救急出動件数及び搬送人員は、前年に比べ増加となりました。増加した要因として、高齢者の搬送人員の増加、及び軽症者の搬送人員の増加に一因があると考えられます。

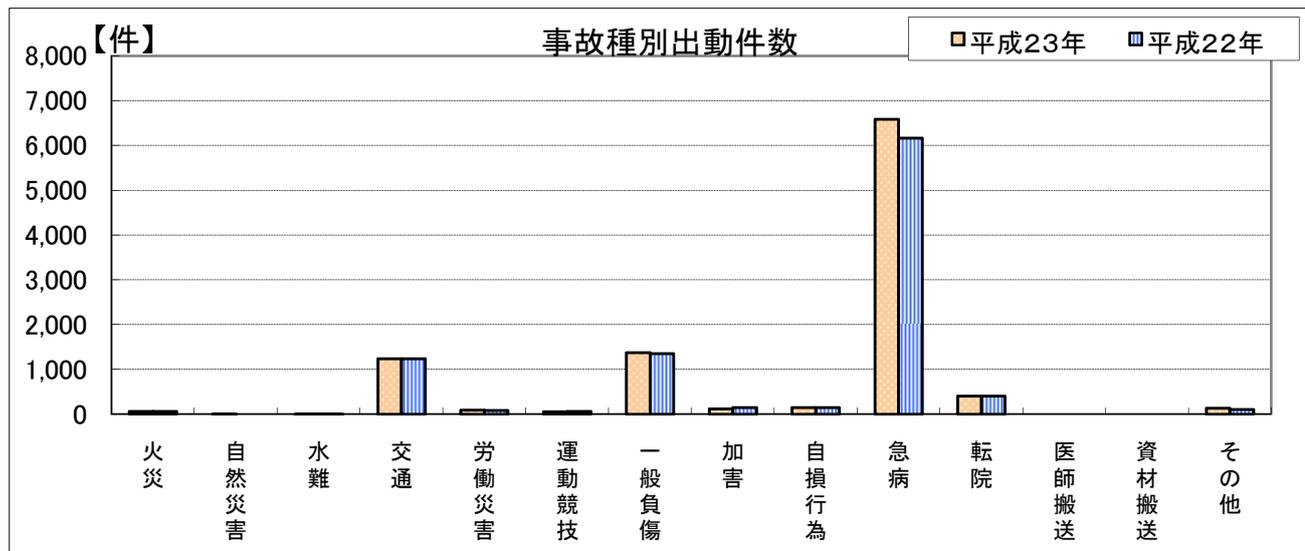
救急出動件数及び搬送人員の推移

	救 急 出 動 件 数		搬 送 人 員	
	件 数	対前年比	人 数	対前年比
平成19年	9,615	120 (1.3%)	8,532	88 (1.0%)
平成20年	8,952	△663 (-6.9%)	7,833	△699 (-8.2%)
平成21年	9,165	213 (2.4%)	7,967	134 (1.7%)
平成22年	9,765	600 (6.5%)	8,405	438 (5.5%)
平成23年	10,216	451 (4.6%)	8,816	411 (4.8%)



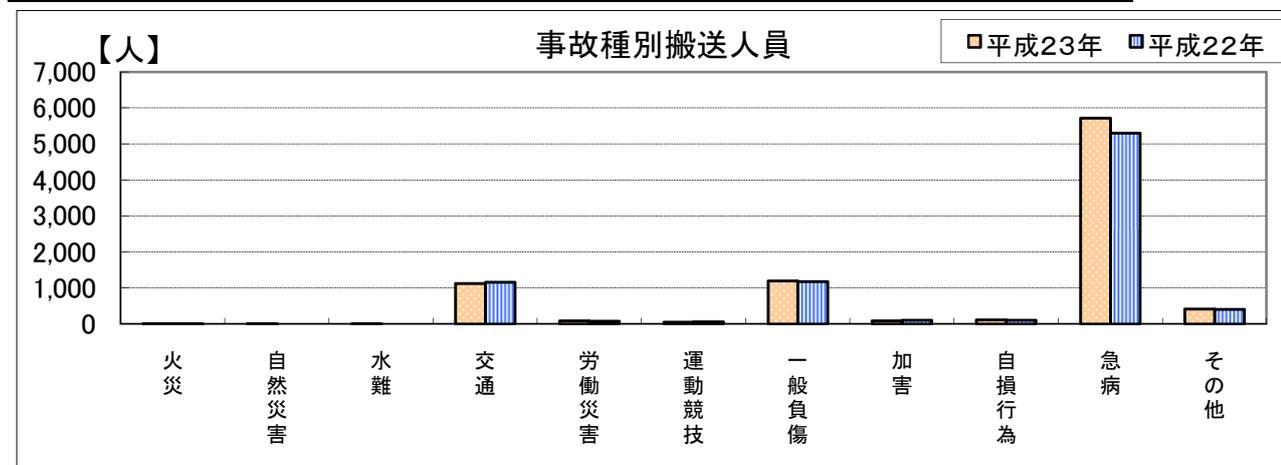
救急種別出動件数

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	医師搬送	資材搬送	その他	合計
平成22年	62	0	2	1,237	80	61	1,355	146	148	6,168	401	0	0	105	9,765
平成23年	60	13	1	1,235	90	58	1,371	116	146	6,589	404	0	0	133	10,216
前年比	△ 2	13	△ 1	△ 2	10	△ 3	16	△ 30	△ 2	421	3	0	0	28	451



救急種別搬送人員

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
平成22年	12	0	0	1,158	79	57	1,180	104	103	5,306	406	8,405
平成23年	15	11	1	1,123	85	54	1,195	86	111	5,717	418	8,816
前年比	3	11	1	△ 35	6	△ 3	15	△ 18	8	411	12	411



町名別救急出動件数 No. 1 (1/1~7/17)

町名	件数	町名	件数	町名	件数
谷塚町	400	草加	200	住吉	63
氷川町	344	西町	172	谷塚上町	82
瀬崎町	337	花栗	155	中根	94
松原	297	弁天	154	神明	51
青柳	370	新栄町	159	苗塚町	56
青柳町	0	松江	109	小山	52
旭町	215	中央	73	谷塚仲町	42
高砂	169	長栄町	96	原町	63
栄町	199	新里町	126	両新田西町	52
八幡町	200	柳島町	102	両新田東町	29
北谷	159	清門町	91	学園町	5
北谷町	0	遊馬町	78		
稻荷	177	柿木町	110		
吉町	170	新善町	102		
金明町	209	手代町	96		
東京都	5	川口市	1	越谷市	0
八潮市	20	外環道	4	その他	0
				小計①	5,688

※平成23年7月18日より瀬崎町及び谷塚町の一部住居表示変更→No. 2参照

町名別救急出動件数 No. 2 (7/18~12/31)

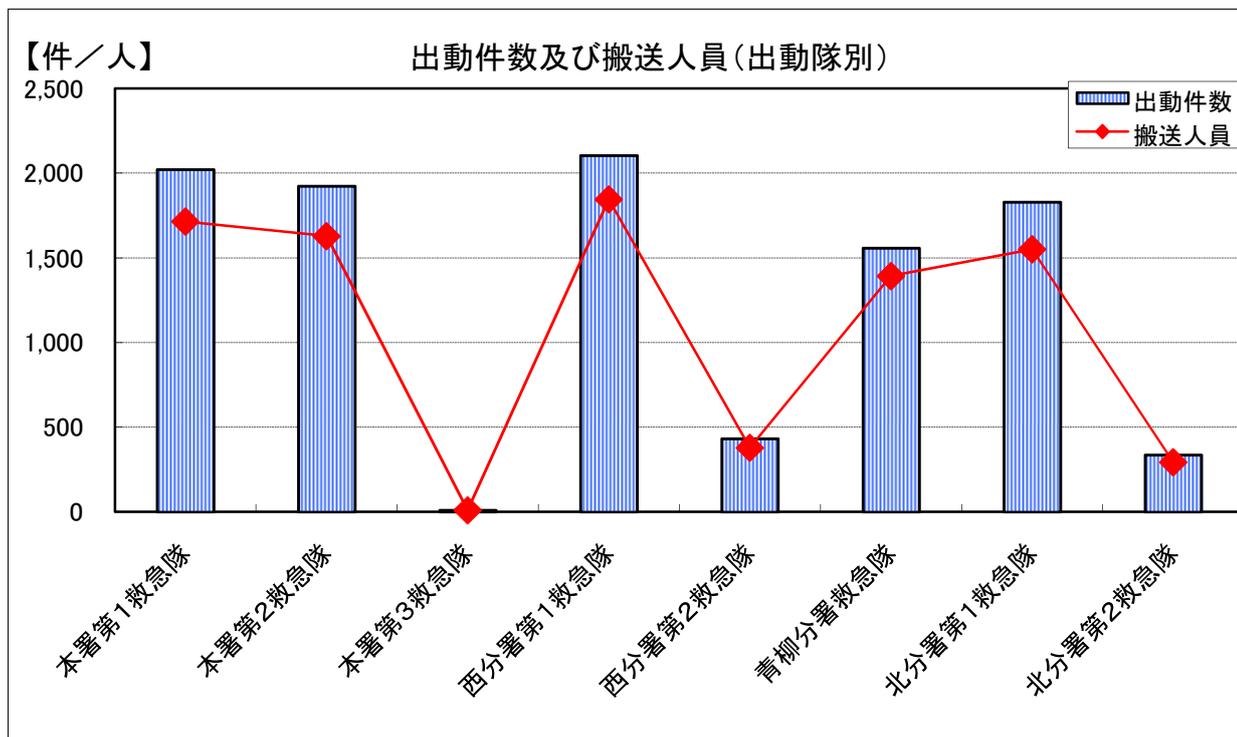
町名	件数	町名	件数	町名	件数
谷塚町	180	草加	157	住吉	59
氷川町	292	西町	145	谷塚上町	76
瀬崎	232	花栗	113	中根	87
松原	243	弁天	106	神明	36
青柳	294	新栄町	122	苗塚町	46
青柳町	1	松江	71	小山	32
旭町	158	中央	60	谷塚仲町	36
高砂	177	長栄町	89	原町	49
栄町	158	新里町	71	両新田西町	26
八幡町	147	柳島町	78	両新田東町	22
北谷	131	清門町	91	学園町	9
北谷町	0	遊馬町	65	谷塚	143
稻荷	127	柿木町	87		
吉町	125	新善町	114		
金明町	152	手代町	78		
東京都	2	川口市	1	越谷市	1
八潮市	19	外環道	20	その他	0
				小計②	4,528

※新住居表示用

合計 ①5688件+②4528件=10216件

救急隊別出動件数・搬送人員

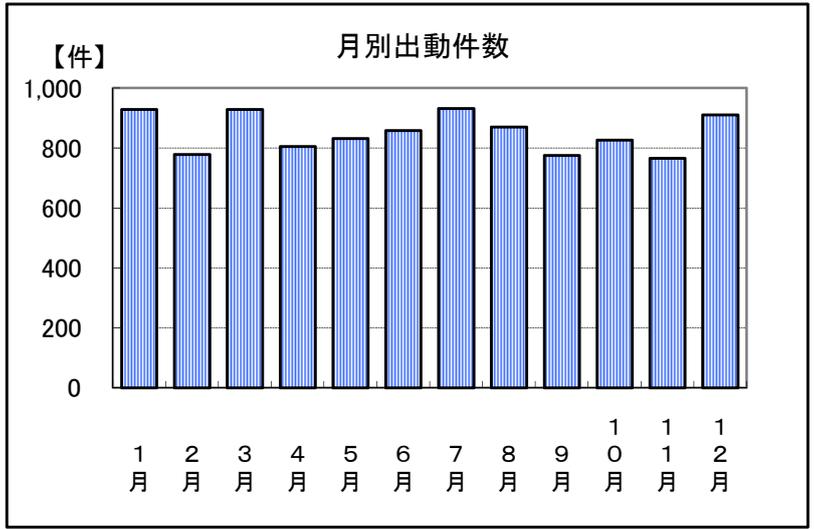
	出動件数	搬送人員
本署第1救急隊	2,021	1,715
本署第2救急隊	1,924	1,629
本署第3救急隊	10	10
西分署第1救急隊	2,105	1,846
西分署第2救急隊	432	379
青柳分署救急隊	1,557	1,393
北分署第1救急隊	1,830	1,551
北分署第2救急隊	337	293
計	10,216	8,816



月・曜日・時間別出動件数

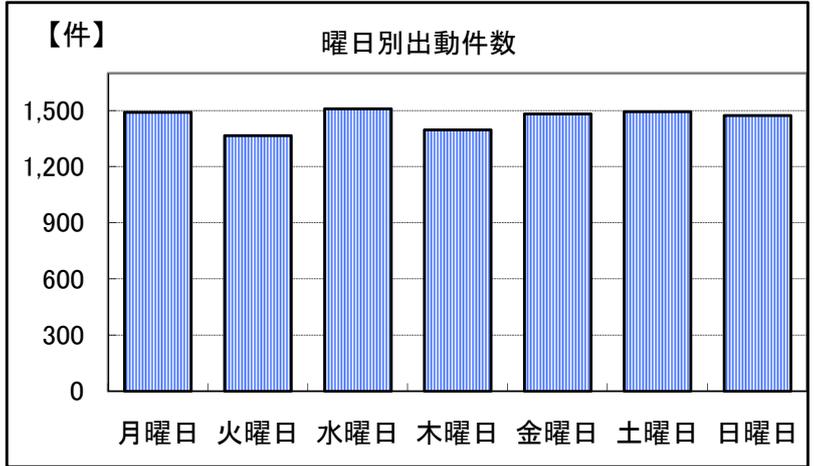
月別出動件数

月別	件数
1月	929
2月	779
3月	929
4月	806
5月	832
6月	859
7月	932
8月	870
9月	776
10月	827
11月	766
12月	911



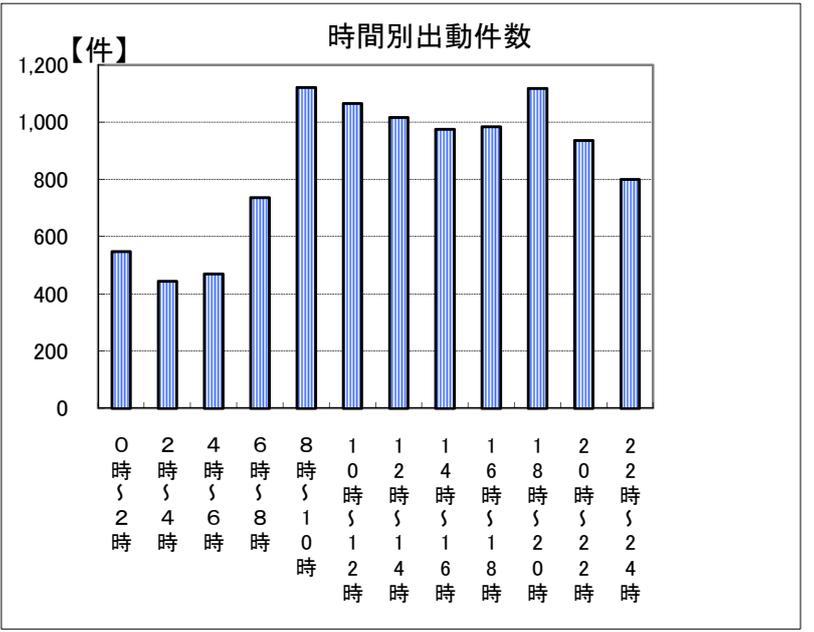
曜日別出動件数

曜日別	件数
月曜日	1,491
火曜日	1,367
水曜日	1,510
木曜日	1,397
金曜日	1,482
土曜日	1,495
日曜日	1,474



時間別出動件数

時間別	件数
0時～2時	548
2時～4時	444
4時～6時	470
6時～8時	737
8時～10時	1,121
10時～12時	1,066
12時～14時	1,017
14時～16時	975
16時～18時	984
18時～20時	1,118
20時～22時	936
22時～24時	800



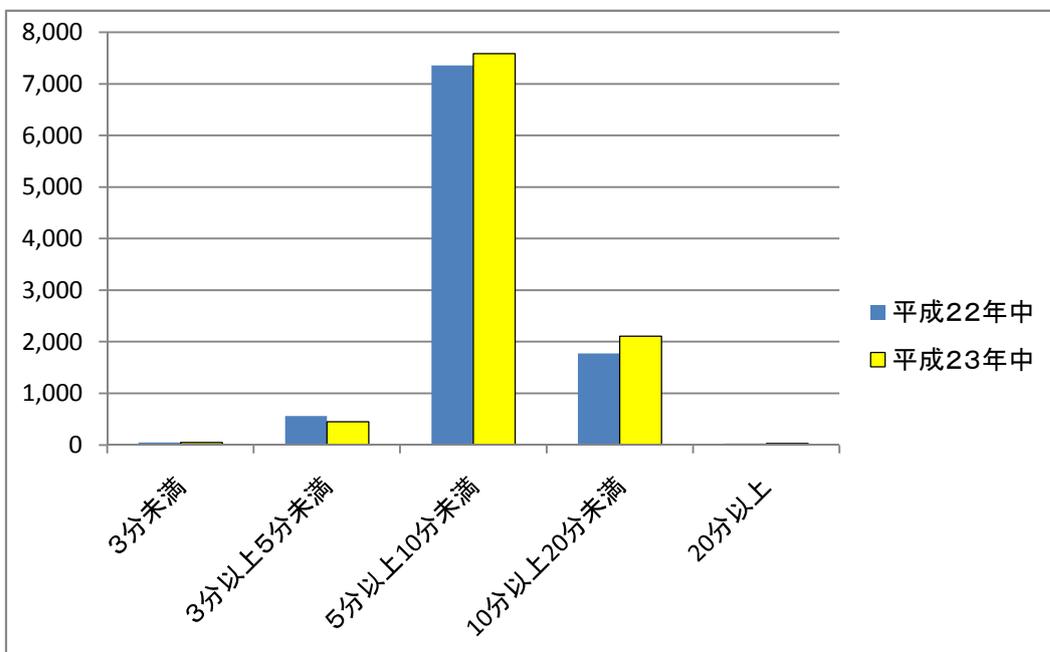
現場到着所要時間別出動件数

救急隊が現場到着に要した平均現場到着所要時間は、8.0分です。
 (平成22年の平均7.7分)

※ 現場到着所要時間は、救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間です。

現場到着所要時間別出動件数

到着時間	平成22年中	平成23年中
3分未満	48	45
3分以上5分未満	561	449
5分以上10分未満	7,355	7,582
10分以上20分未満	1,773	2,108
20分以上	28	32

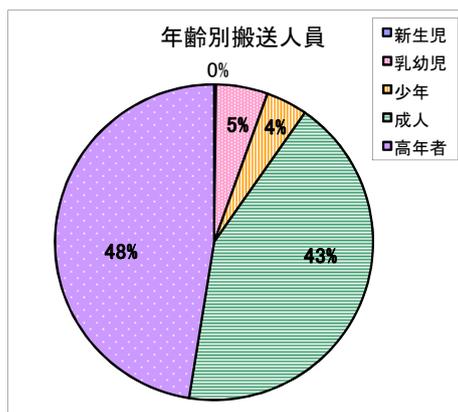


年齢別傷病程度別搬送人員 No. 1

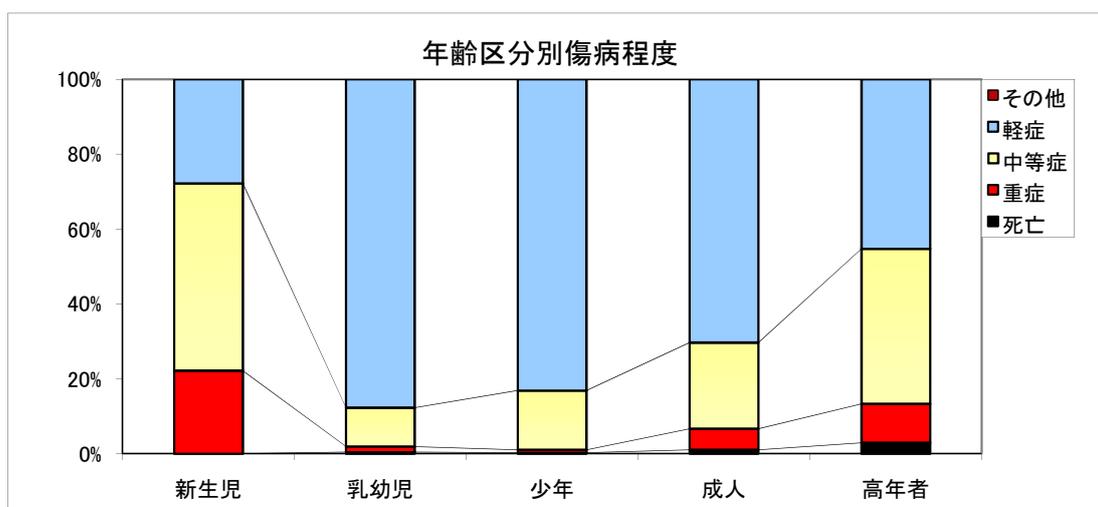
医療機関に搬送した8,816人のうち、成人が占める割合は約43% (3,775人)、高年者は約47% (4,187人)となっています。

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
新生児	0	4	9	5	0	18
乳幼児	2	7	48	406	0	463
少年	1	3	59	310	0	373
成人	41	211	869	2,654	0	3,775
高年者	124	434	1,734	1,895	0	4,187
合計	168	659	2,719	5,270	0	8,816

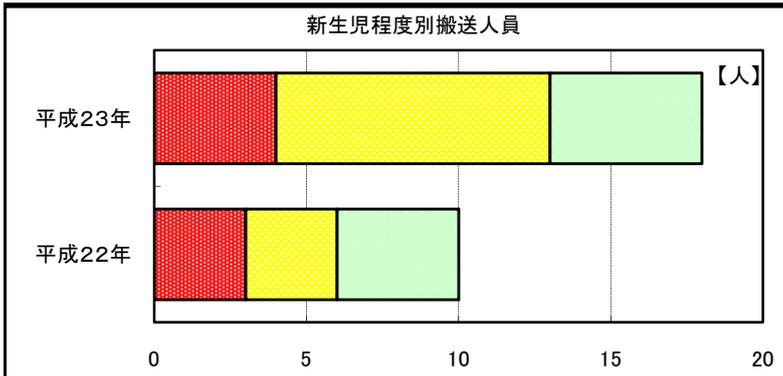
新生児・生後28日以内
 乳幼児・生後28日以上～満7歳未満
 少年・満7歳以上～満18歳未満
 成人・満18歳以上～満65歳未満
 高年者・満65歳以上



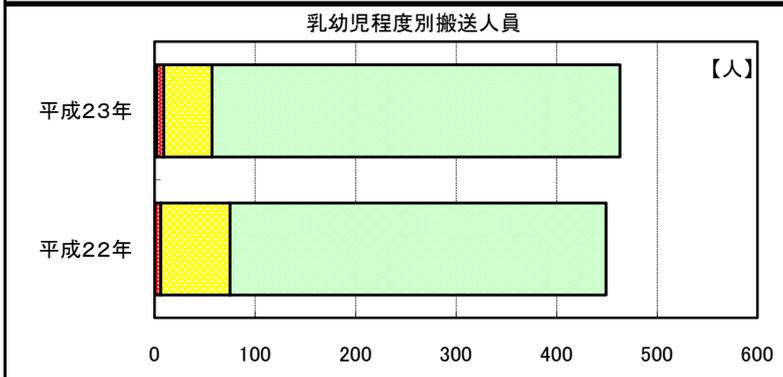
死亡—初診時において、死亡が確認されたもの
 重症—傷病の程度が、3週間以上の入院加療が必要なもの
 中等症—傷病の程度が、入院を要するもので重症に至らないもの
 軽症—傷病の程度が、通院加療のもの



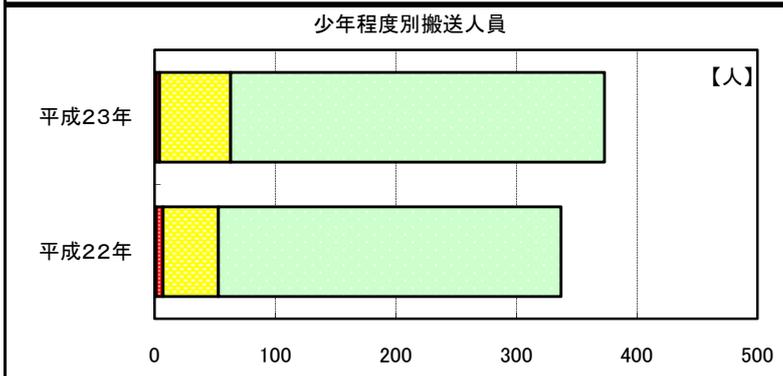
年齢別傷病程度別搬送人員 No.2



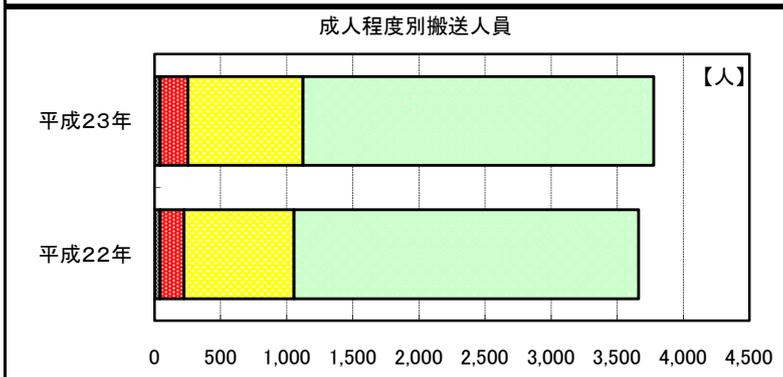
新生児	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成23年	0	4	9	5	0
対前年比	0	1	6	1	0



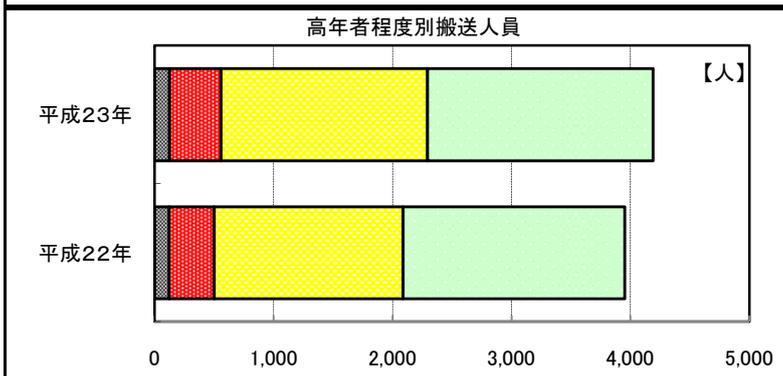
乳幼児	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成23年	2	7	48	406	0
対前年比	2	1	△ 21	32	0



少年	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成23年	1	3	59	310	0
対前年比	0	△ 3	13	26	0



成人	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成23年	41	211	869	2,654	0
対前年比	△ 1	30	38	49	0

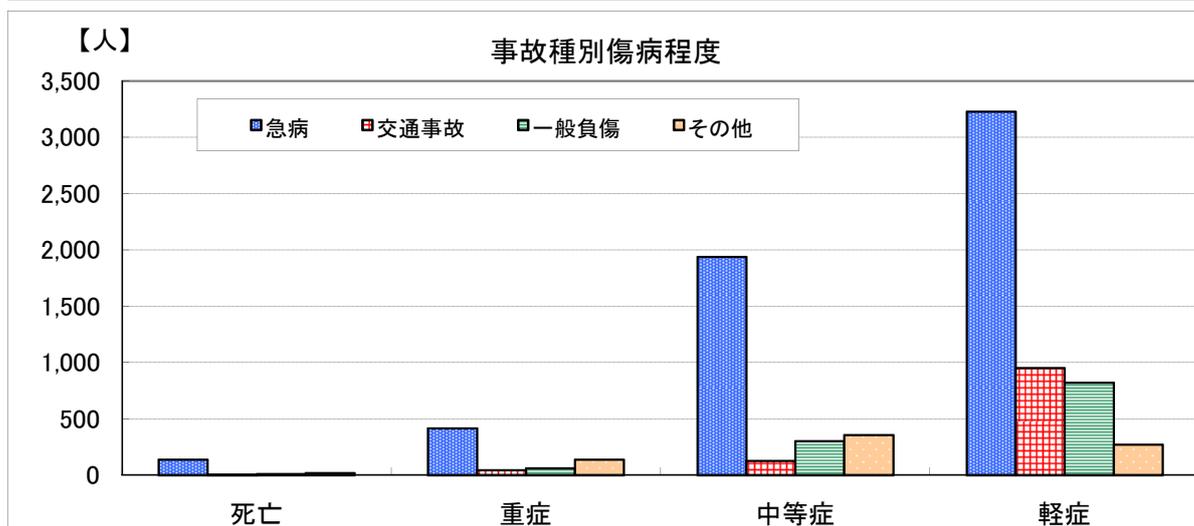
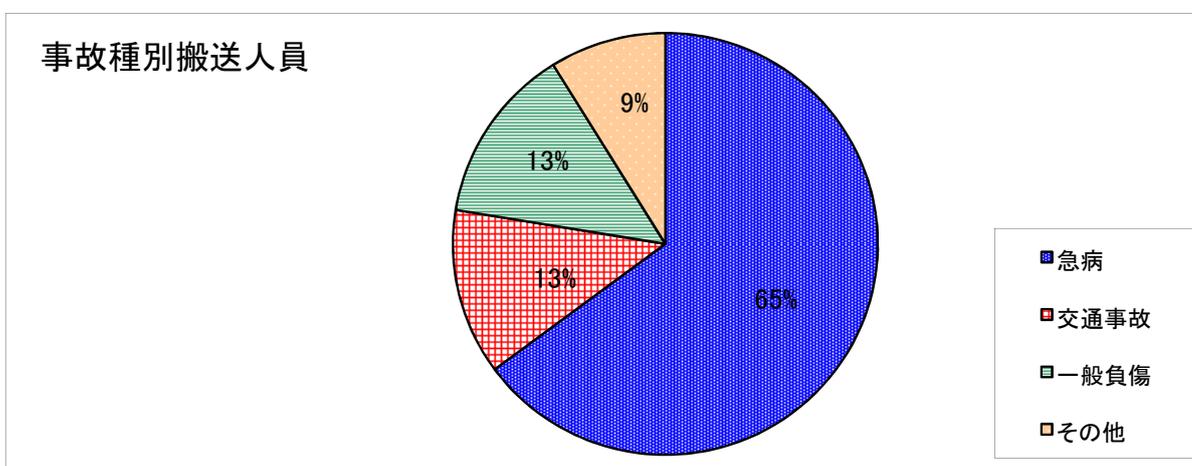


高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
平成23年	124	434	1,734	1,895	0
対前年比	3	54	147	33	0

事故種別傷病程度別搬送人員

「急病」は、5,717人と全体の約65%を占めています。
 また、全体の約60%（5,270人）が入院を要しない軽症の傷病者でした。

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
急病	137	415	1,937	3,228	0	5,717
交通事故	3	45	125	950	0	1,123
一般負傷	11	61	301	822	0	1,195
その他	17	138	356	270	0	781
合計	168	659	2,719	5,270	0	8,816



発生場所別搬送人員状況

\	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	計
急病	4,615	745	156	185	16	5,717
交通	42	23	13	1,040	5	1,123
一般負傷	768	217	18	171	21	1,195
その他	177	474	79	36	15	781
計	5,602	1,459	266	1,432	57	8,816

東京外環自動車道救急出動状況

種別	出動件数		搬送人員			
	件数	不搬送	軽症	中等症	重症	合計
交通	16	5	17	1	1	19
急病	6	0	5	1	0	6
その他	2	2	0	0	0	0
合計	24	7	22	2	1	25

※ 上記数値は、外環自動車道に出動した総件数で、1事故に複数台の救急隊が対応しています。

市民に対する救命処置の講習会

傷病者に対する救命効果の向上のためには、現場に居合わせた人(バイスタンダー)による応急手当が重要であることから、草加市消防本部では、市民に対する応急手当の普及啓発活動を積極的に推進する中、救急要請に対して、迅速・的確に対応し病院前救護の充実を図るため、自動体外式除細動器(AED)の普及及び市民等を対象とした応急手当講習(上級救命講習・普通救命講習Ⅰ・Ⅱ)を実施し、市民による早期の救命処置及び救命リレーの強化による、救命率の向上を図っています。

応急手当講習の内容は、全体が簡素化され、どなたでも簡単に実施できる内容になっております。

普通救命講習Ⅰは、心肺蘇生法(人工呼吸・胸骨圧迫)及び自動体外式除細動器(AED)の取扱いを中心とした3時間の講習会、普通救命講習Ⅱは、業務の内容や活動領域の性格から一定の頻度で心停止者に対し応急の対応をすることが期待・想定される方が対象となります。(4時間)

また上級救命講習は、心肺蘇生法に加え傷病者管理法・外傷の手当て要領・搬送法等が加わった(8時間)の講習も実施しており、それぞれの講習修了者に修了証を交付しています。

普通救命講習(Ⅰ・Ⅱ)修了者数及び実施回数

	普通救命講習修了者数	普通救命講習実施回数	修了者総数
平成19年	1,642	94	13,200
平成20年	1,584	82	14,784
平成21年	2,026	111	16,810
平成22年	1,840	103	18,650
平成23年	1,554	84	20,204

上級救命講習修了者数及び実施回数

	上級救命講習修了者数	上級救命講習実施回数	修了者総数
平成19年	37	2	192
平成20年	38	2	230
平成21年	30	2	260
平成22年	44	2	304
平成23年	40	2	344

心肺蘇生法が新しく変更されました！

草加市では、市民の尊い命を守るために消防署・各分署において、定期的に普通救命講習や上級救命講習を開催しております。

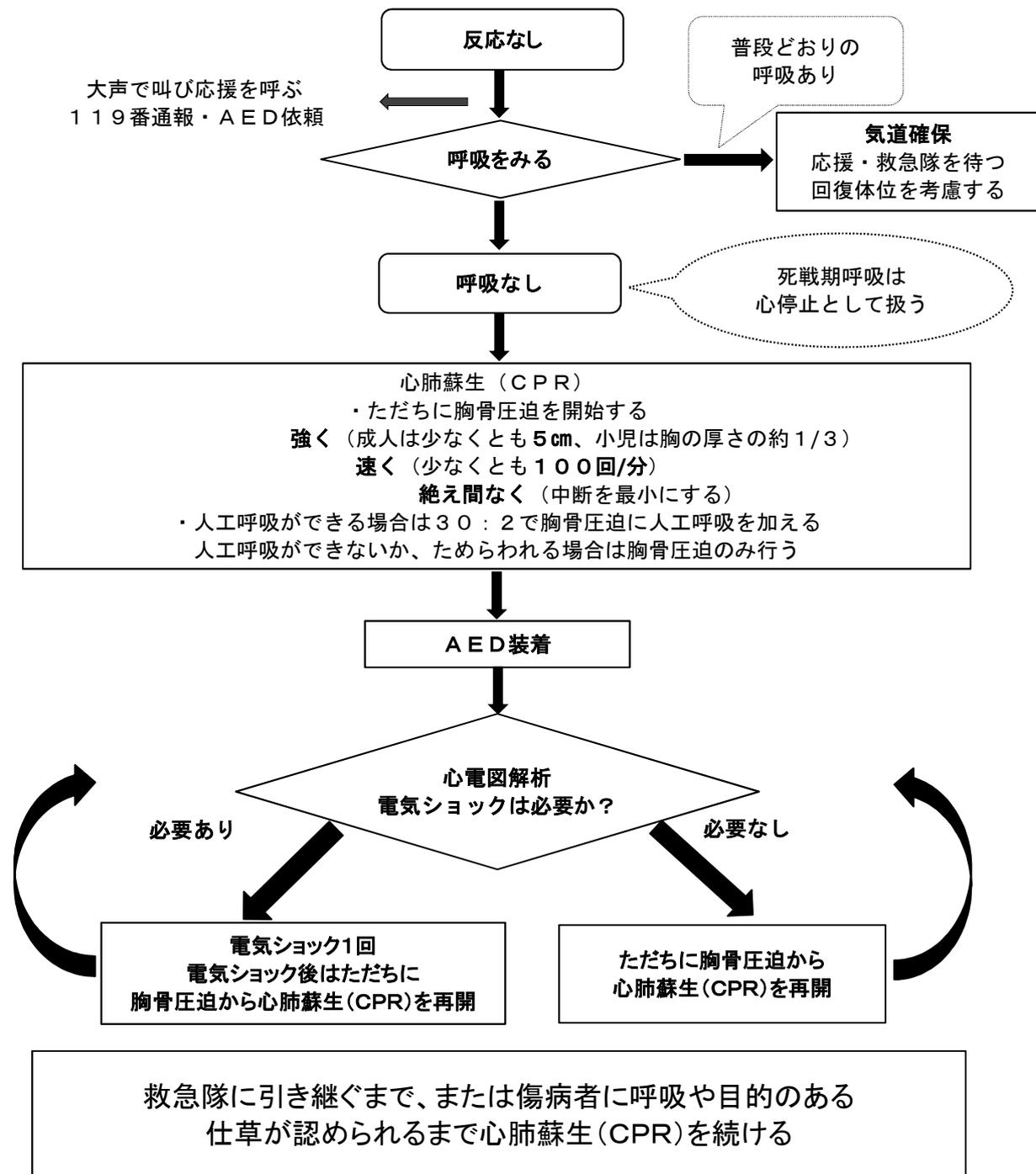
毎年、住民の皆様のご理解得て、心肺蘇生法の訓練やAEDの取り扱い訓練を実施しており、平成23年12月末には、延べ2万人を超える普通・上級救命講習の受講者が誕生しております。

心肺蘇生法は、日常練習する機会が少ないため、心肺蘇生法の訓練を受けていても時間が経つにつれて忘れていってしまうものです。

また、約5年に一度のペースで新たな心肺蘇生法に見直しされていきますので、定期的に救命講習などに参加していただき、いざという時に備えておくことが、ご家族やご友人などの大切な命を助けるためには大事なことです。

機会がありましたら、定期的に消防署や各分署で開催されおります救命講習にご受講していただいておりますか。

市民が行う心肺蘇生法の手順（一次救命処置）



※心肺蘇生法は、新しく変更されていきますが、従来の心肺蘇生法は、間違いではありません。

草加市消防本部

お問い合わせは、消防署・各分署へお問い合わせください。
消防署 救急係 048-924-2114 ・ 西分署 048-925-3251
青柳分署 048-931-3973 ・ 北分署 048-944-7301

救助統計

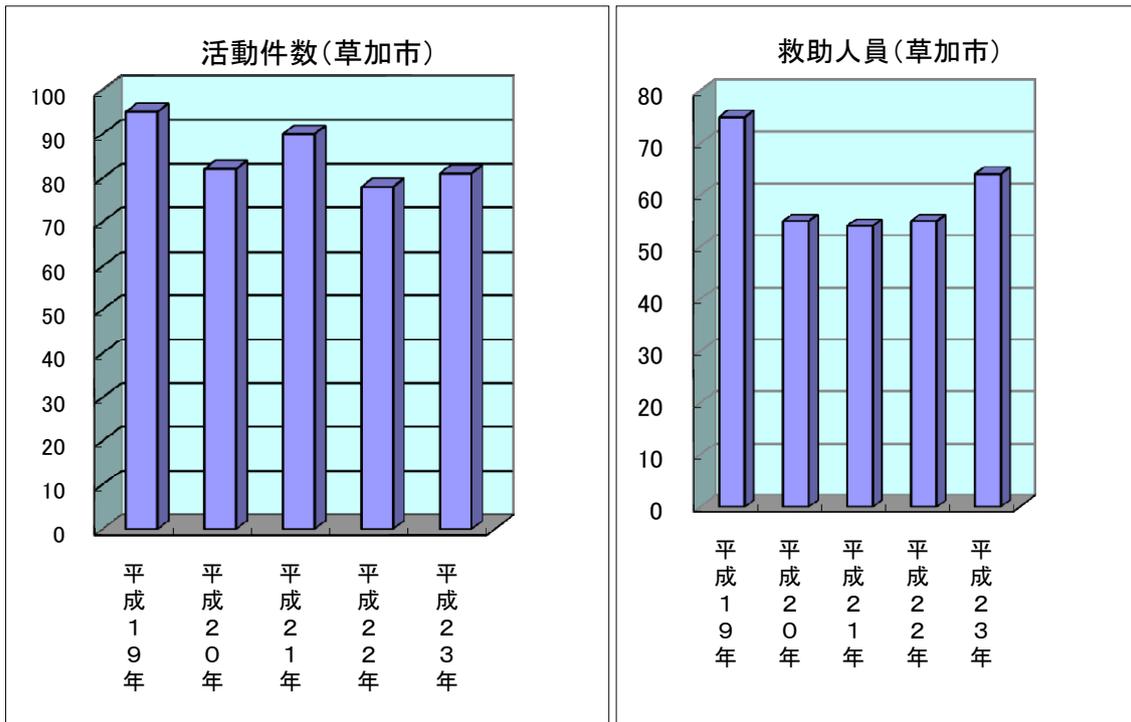


救助活動状況の概要

近年、全国的に消防機関が行う人命救助活動は、都市構造の変貌及び人口の過密化さらには、社会生活の高度化、複雑化に伴った人的災害及び、東日本大震災による地震・津波災害、台風等による豪雨災害の自然災害救助事象が増加しているなか、本市の救助活動件数は前年より3件増加しました。

救助活動件数及び救助人員の推移

	救助活動件数			救助人員		
	草加市	埼玉県	全国	草加市	埼玉県	全国
平成19年	95	2,182	51,954	75	1,551	55,873
平成20年	82	2,397	53,295	55	2,397	54,231
平成21年	90	2,253	53,114	54	1,528	54,991
平成22年	78	2,357	55,031	55	1,684	58,682
平成23年	81	未集計	未集計	64	未集計	未集計



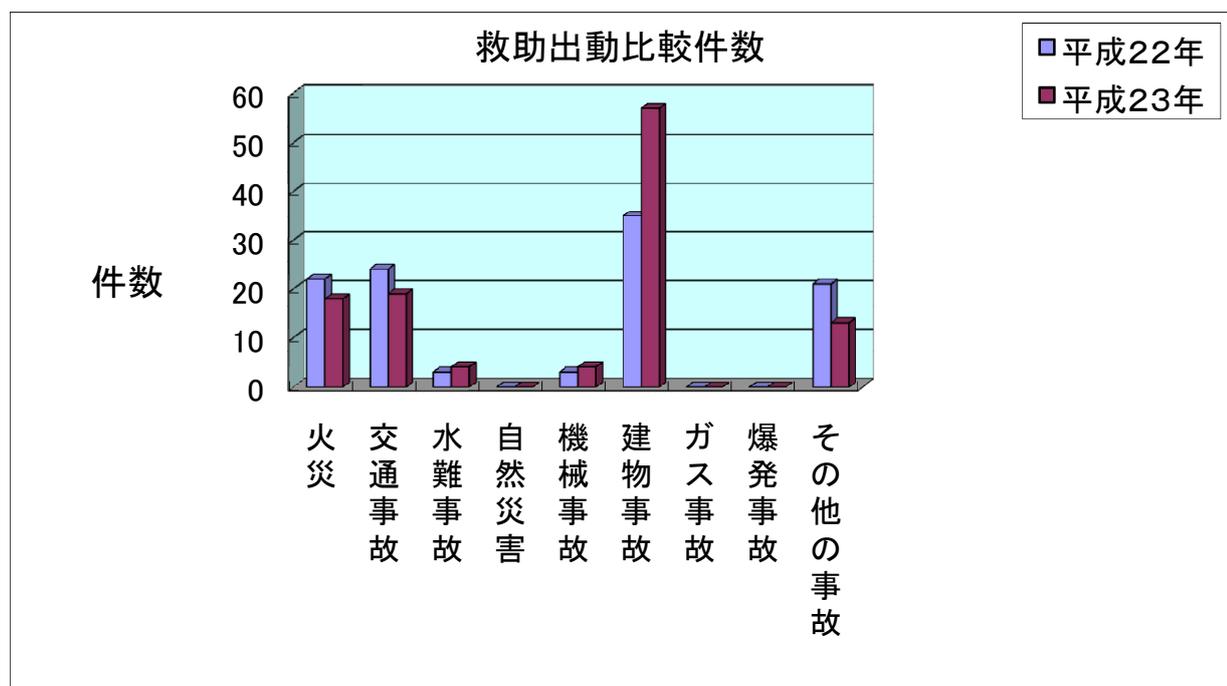
※ 消防機関の行う救助業務とは、現に発生している災害等に起因する障害等から、要救助者を安全に救助・救命することを目的として行う一連の行動を言います。

事故種別救助出動状況

平成23年の救助出動は、前年より7件増加しており、うち建物事故にあつては約61%の増加となりました。

救 助 出 動 件 数

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス事故	爆発事故	その他の事故	合計
平成22年	22	24	3	0	3	35	0	0	21	108
平成23年	18	19	4	0	4	57	0	0	13	115



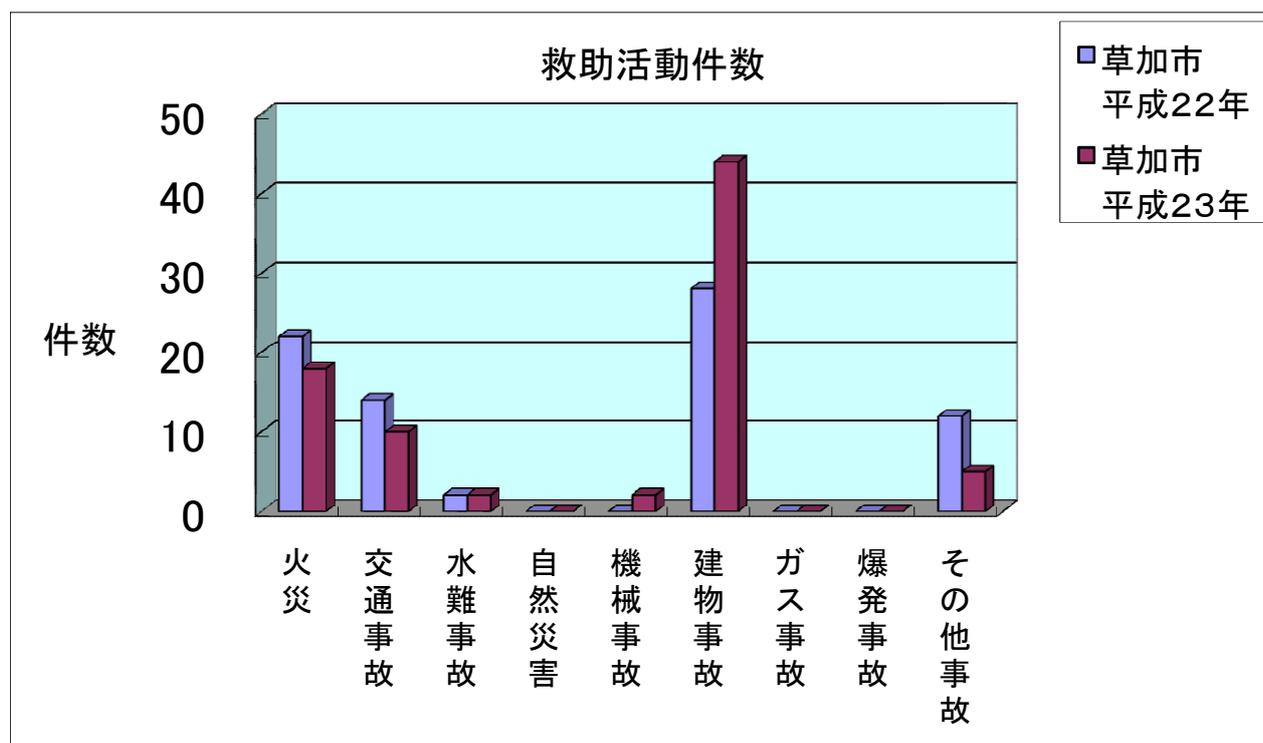
事故種別救助活動状況

救助活動件数とは、消防機関（主に救助隊）が各種事象にて救助活動を行った件数であり、平成23年においては出動件数の約70%を占めています。

その中でも、ここ数年の傾向として火災及び建物事故の救助活動が多く全体の約76%を占めています。

救助活動件数

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス事故	爆発事故	その他事故	合計
草加市 平成22年	22	14	2	0	0	28	0	0	12	78
草加市 平成23年	18	10	2	0	2	44	0	0	5	81
県内 平成21年	836	477	91	18	28	388	45	0	370	2,253
県内 平成22年	775	537	96	6	36	457	48	2	400	2,357
全国 平成21年	6,140	16,310	2,509	233	962	17,212	736	7	9,005	53,114
全国 平成22年	5,530	16,585	2,661	279	999	19,232	650	10	9,085	55,031

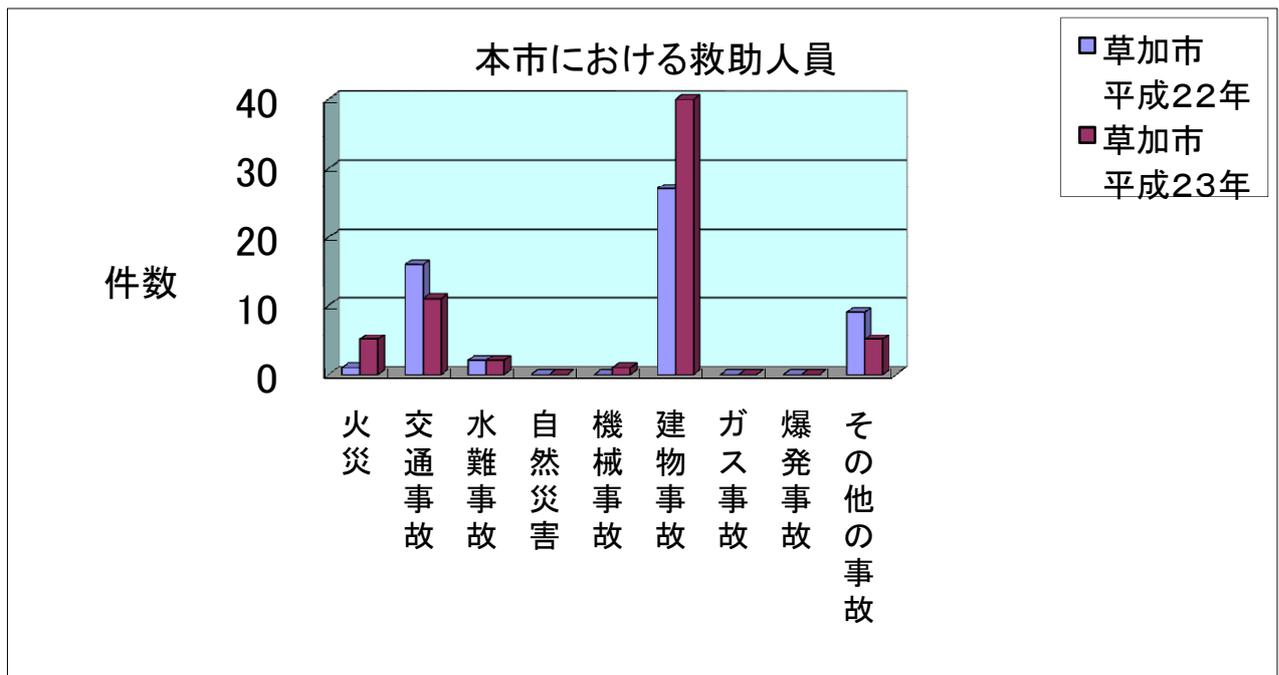


事故種別救助人員

救助人員とは、消防機関（主に救助隊）が救助活動により救出した人員を言います。事故種別によっては交通事故、建物事故で全体の約79%を占めています。

本市等における救助人員

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス事故	爆発事故	その他の事故	合計
草加市 平成22年	1	16	2	0	0	27	0	0	9	55
草加市 平成23年	5	11	2	0	1	40	0	0	5	64
県内 平成21年	129	532	69	27	31	353	42	0	345	1,528
県内 平成22年	112	624	70	5	42	400	37	0	394	1,684
全国 平成21年	2,034	22,360	2,623	833	1,252	16,374	685	7	8,823	54,991
全国 平成22年	2,051	23,349	3,156	502	1,263	18,220	632	11	9,498	58,682



平成23年中の主な救助活動事例

1 建物火災

建物1階北側開口部から火炎が噴出しており、ホース1線を延長し、屋内階段より3階住居に侵入、検索活動を開始する。3階住居南側室内にて要救助者を発見、徒手にて救出する。

(所要時間16分)

2 交通事故

トラックとワゴン車の関係する交通事故で、ワゴン車に乗っていた男性2名がダッシュボードと座席の間に両下肢が挟まれ、脱出不能状態であった。スプレッダーを活用し、助手席及び運転席のドアを開放、チルホール及びポートパワー等で間隙を作り、バックボードにて2名を救出する。

(所要時間36分)

3 機械事故

野菜切断機に左手指4本が巻き込まれたもの。野菜切断機の分解を試みるも、救出までに時間を要すると判断、医師に指示要請を行ったところ、機械を逆回転するよう指示を受け救出する。

(所要時間20分)

4 建物事故

搬出困難なため救急隊からの要請。建物2階南側バルコニーに三連梯子を架梯したのち、大腿骨骨折の要救助者をワイヤーバスケットストレッチャーに収容、梯子水平2法にて救出する。

(所要時間10分)

5 その他

橋の柵で男性が首を吊っていたもの。樋管ゲートの梯子に支点を設定長ロープ及び簡易縛帯を使用し引き揚げ救出する。

(所要時間14分)

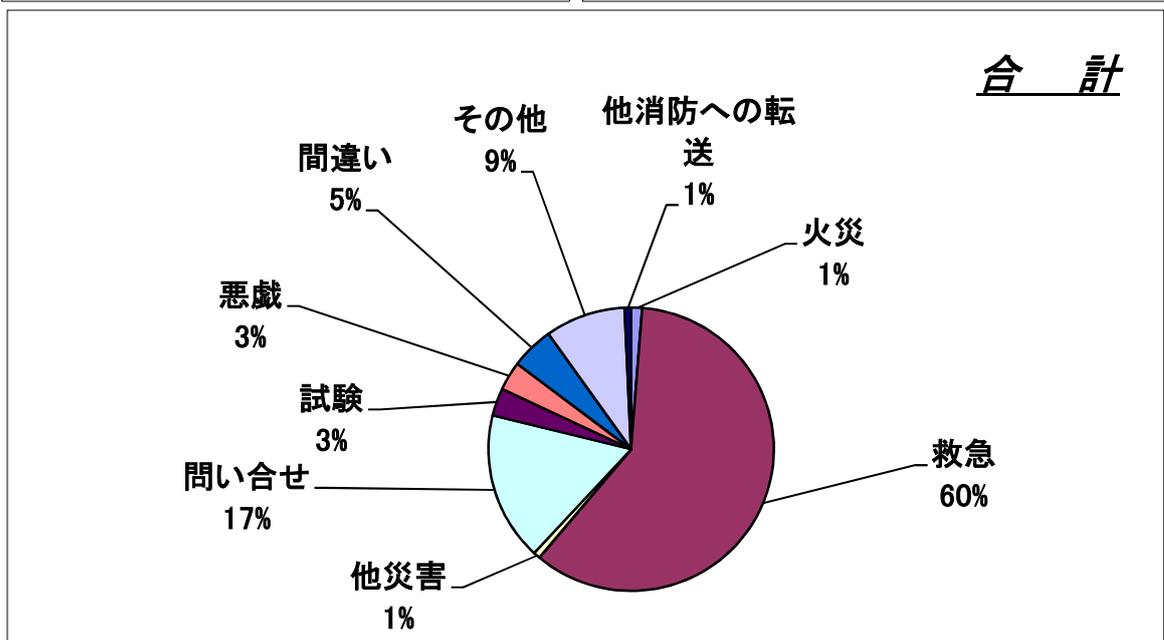
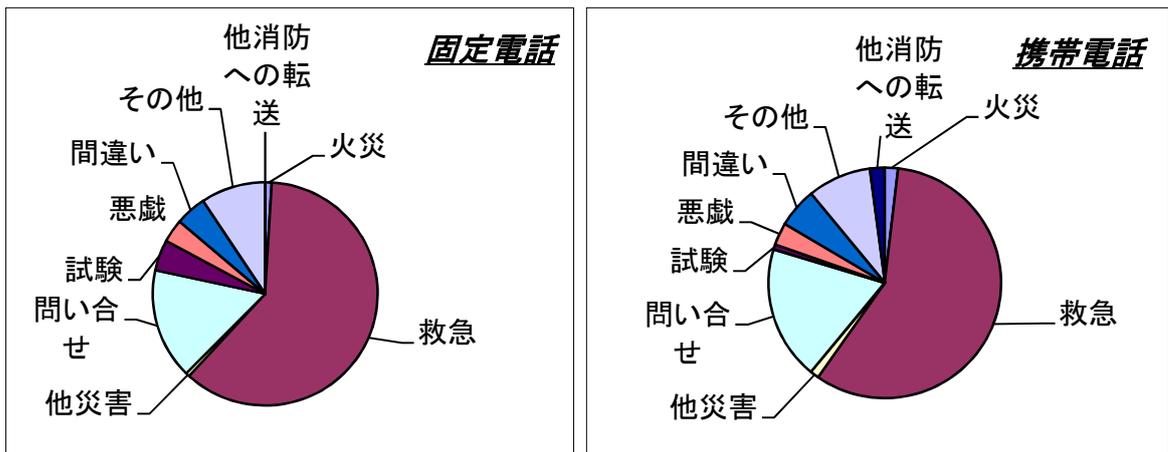
119番統計



平成23年火災報知専用電話等(119番)種別受信状況

受信内訳	固定電話	携帯電話	累計
火災	95	95	190
救急	6085	3014	9,099
他災害	53	65	118
問い合わせ	1,601	974	2,575
試験	446	37	483
悪戯	338	163	501
間違い	446	290	736
その他	926	459	1,385
他消防への転送	3	108	111
合計	9,993	5,205	15,198

※ 同一災害で、複数通報や結果として災害に至らなかった場合等がありますので、災害件数と一致しません。



119番通報状況

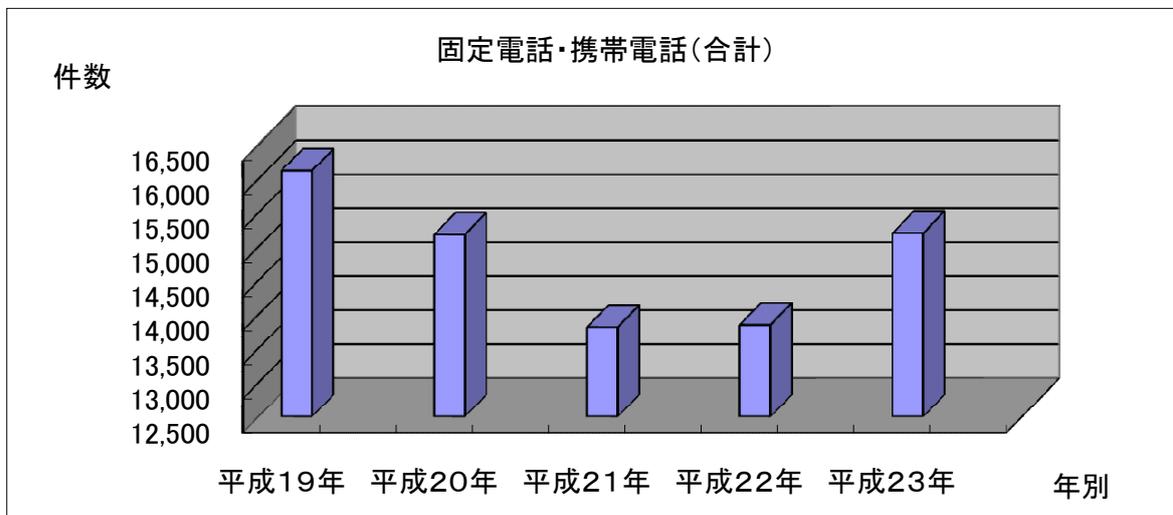
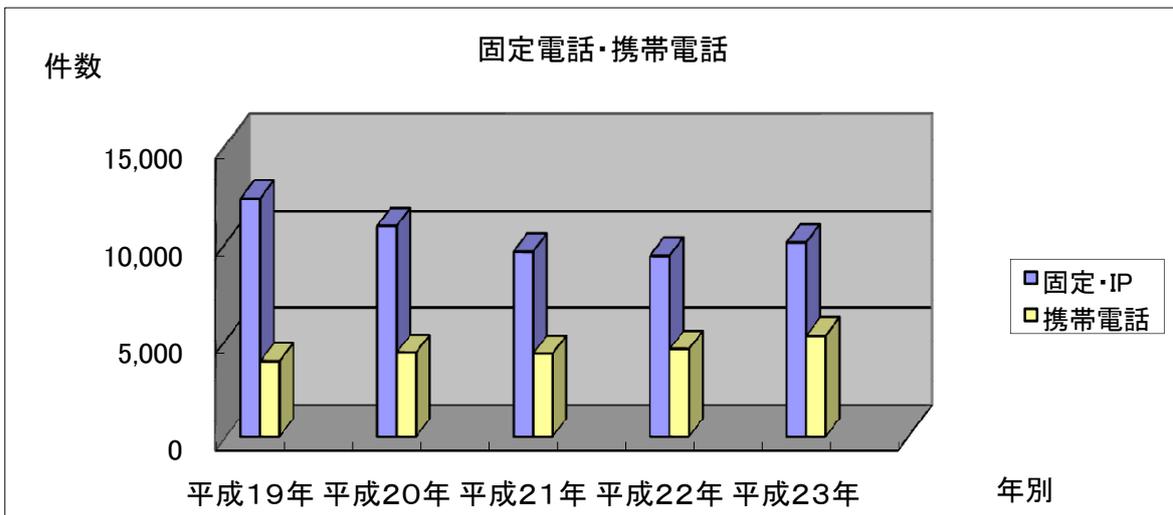
平成23年中の通報件数は、15,198件(携帯電話による通報は5,205件)でした。

携帯電話による通報は、5,205件で昨年(4,520件)より約15%増加し、年々増加傾向にあります。

通報内容は、災害(火災、救急、救助、警戒)が1,0217件で、全体の約67.2%で最も多く、次に休日当番医の問い合わせ等が2,575件で約17%、いたずら・間違い通報が1,237件で約8.1%、試験・近隣消防本部への転送が594件で約4%でした。

その他の1363件の中には、ペンダント所持者からの救急要請が33件ありました。

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
固定・IP	12,227	10,850	9,527	9,324	9,993
携帯電話	3,891	4,328	4,282	4,520	5,205
合計	16,118	15,178	13,809	13,844	15,198





消太 ×毛

Handwriting practice lines consisting of 15 horizontal dashed lines.



